KENWOOD

RAMPAGE

ミニディスク パーソナル ステレオシステム

取扱説明書

この取扱説明書は2機種を共用しておりますので、一部フィーチャー（機能）の異なるものがあります。

MDX-J7
MDX-J9

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。
使いかたの説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

MDLP

NetMD

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-5231-00 00 (MA) (J) KW 0201

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このシンボルマークのある製品はケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

この取扱説明書は、MDX-J7とMDX-J9の2機種を共用しています。そのため、本体部の説明には全てMDX-J7のイラストを使用していますのでご了承ください。

デモンストレーションモードについて

本機には、デモンストレーション機能（表示のみ）があります。各動作を示す表示部が順に変化していきますが、音は変化しません。
なお、本機の電源が入っている間に停電があったり、ACアダプターを抜き差ししたりしたときは、自動的にデモンストレーションモード（"DEMO ON"）になります。

デモンストレーションモードを解除する："DEMO ON"中にSET/Demoキーを押す。

デモンストレーションモードに設定する：電源が入っている間に、2秒以上SET/Demoキーを押す。

目次

このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

安全上のご注意

このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

⚠ 警告

ACアダプターは交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器の AC アダプターは，交流100ボルト専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

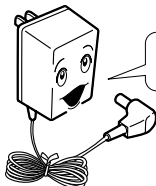
放熱に注意

本体および AC アダプターは次のような使い方をしないでください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用する。
- 風通しの悪い、狭い所に押し込む。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

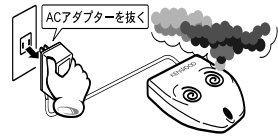
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

指定のACアダプターを使う

充電するときや電源を供給するときは，機器に付属，または指定の AC アダプターをお使いください。
指定以外の AC アダプターを使用すると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り，AC アダプターをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。煙や，異臭，異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

ACアダプターのプラグは清潔に

AC アダプターの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は，AC アダプターを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

ケースを絶対に開けないでください

ACアダプターや機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

ACアダプターや機器を落としたり，カバーやケースがこわれた場合は，電源スイッチを切り,ACアダプターをコンセントから抜き，電池を取り出して，点検，修理をご依頼ください。
そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線やACアダプターには触れないでください。
感電の原因となります。

屋外の場合は、使用を中止し、機器から離れてください。
落雷の原因となります。

電池は放置しない

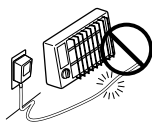
電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

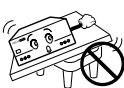
乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意

ACアダプターを熱器具に近付けない

ACアダプターを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

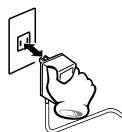
油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

ACアダプターの抜き差しは

ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

ACアダプターは，根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ACアダプターを抜くときは，コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき，火災，感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

ACアダプターはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また，ACアダプターの刃に触れると感電することがあります。

落下に注意

壁掛け使用時は落下にご注意ください。けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間，ご使用にならないときは，安全のため必ずAC アダプターをコンセントから抜き，電池を取り出しておいてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し､やけどの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと､聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠ 注意

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

電池の取扱い

次のことを，必ず守ってください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また，新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

- 電池は，加熱したり，分解したり，火や水の中に入れないでください。

- 電池，電池ケースは，金属製のボールペン，ネックレス，コイン，ヘアーピンなどと一緒に携帯，保管しないでください。

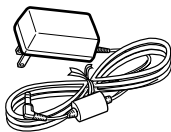
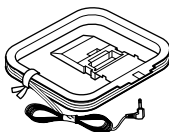
- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。

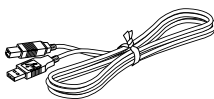
- 長期間使用しないときや常時ACアダプターでご使用になるときは，電池を取り出しておいてください。

誤った使い方をすると，ショートしたり，破裂，液漏れにより，火災，けがや周囲を汚損する原因となることがあります。液がもれた場合は，電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。万一，もれた液が身体についたときは，水でよく洗い流してください。

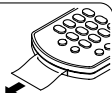
設置する

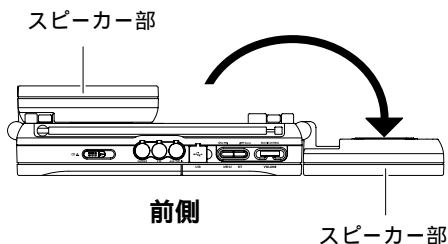
付属品を確かめる

ACアダプター
（1個）

AM ループ
アンテナ（1個）

クッション（2個）

カード型リモコン
（1個・ボタン電池内蔵）

お使いになる前に
カード型リモコンの電池シートを矢印の方向に引き抜いてください。

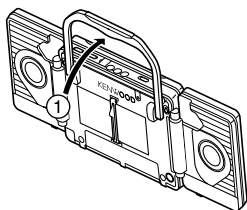
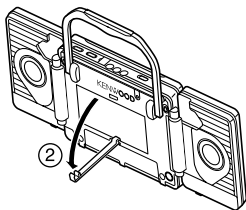
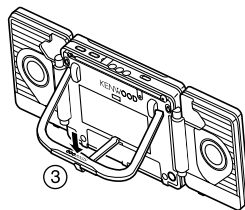
USBケーブル
（MDX-J9のみ）

付属ソフトウェア「Mulia」
（MDX-J9のみ）

スピーカー部を開く

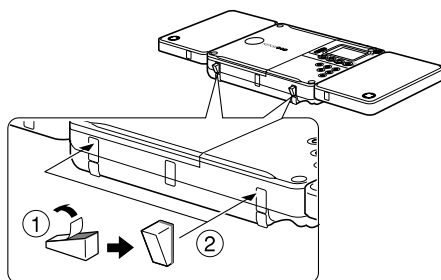
上から見た図

カチッとクリック感のあるところまで、矢印のようにスピーカー部を開きます。

- スピーカー部を折りたたむときは、図の矢印と反対方向へ静かにスピーカー部を閉じていきます。

スタンドで立てる

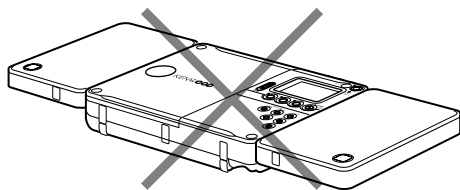
背面のハンドルを動かして、スタンドとして使います。

①ハンドルを矢印の方向におこします。

②ハンドルスタンドを手前に引き出し、倒します。

③ハンドルをハンドルスタンドのフックにかかるようにします。

より安定させてお使いになるには

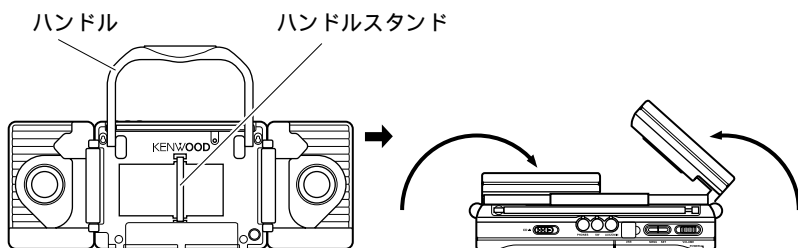
スタンドを立ててお使いのとき、付属のクッションを貼り付けることにより、より安定してお使いになれます。

①クッションに付いている両面テープのシールをはがします。

②クッションを本体に貼ります。

POINT

- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。その場合は、テレビやパソコンから少し離して置いてください。
- スピーカー部を折りたたむときは、接続したコード類を全て外してください。

注意：本機を横に寝かせて使用しないでください。十分な放熱が行われず、故障の原因となることがあります。

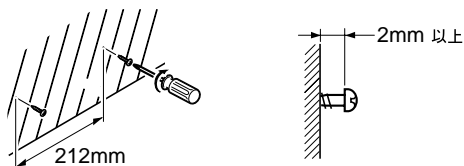
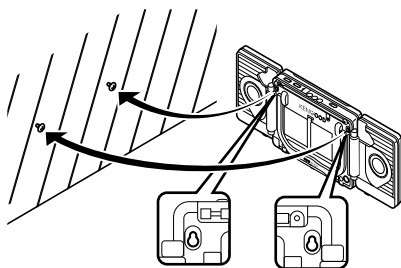
本機を移動するとき

ハンドルスタンドを収納してからハンドルを上まであげ、スピーカー部を折りたたみます。

POINT

- 移動するときは、本機を振り回したりしないでください。
- 移動中は本機を使用しないでください。

本機を壁掛けで使う

市販の木ネジ（φ3.0/15mmまたはφ3.1/16mm）を用意してください。

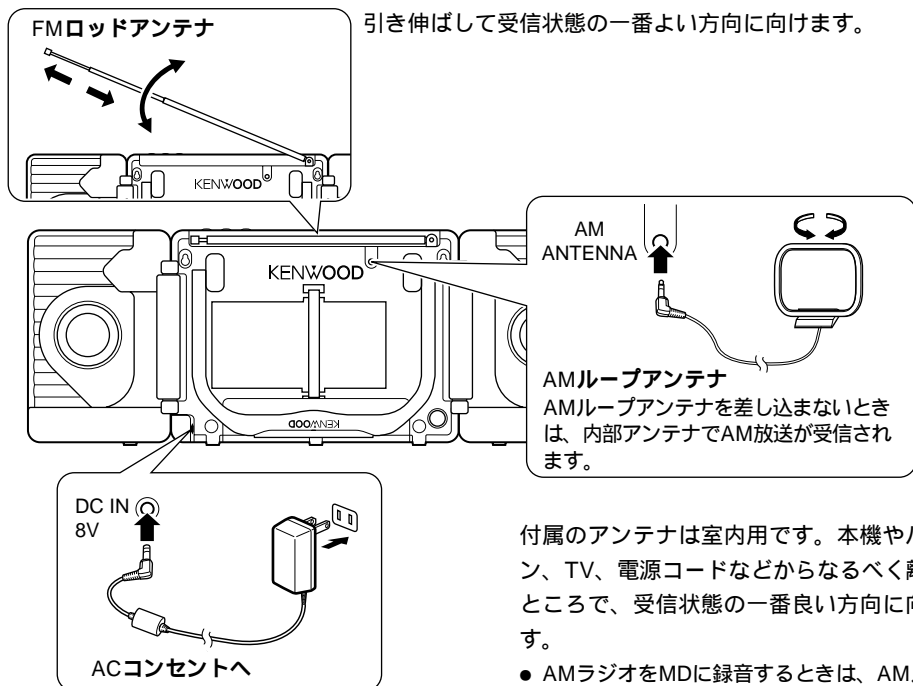
1　壁掛け用穴に合わせて木ネジを安定した柱や壁に取り付ける

2　本体背面の壁掛け用穴をネジにはめ込む

注意： ベニヤ板、石膏ボードなどには取り付けないでください。
落下したり、破損する恐れがあります。
また、背面からの放熱のため、壁の材質によっては変形または変色することがあります。

- 壁に掛けて使用するときは、背面のアンテナ端子にFM屋外アンテナを接続することはできません。

付属品を接続する

引き伸ばして受信状態の一番よい方向に向けます。

付属のアンテナは室内用です。本機やパソコン、TV、電源コードなどからなるべく離れたところで、受信状態の一番良い方向に向けます。

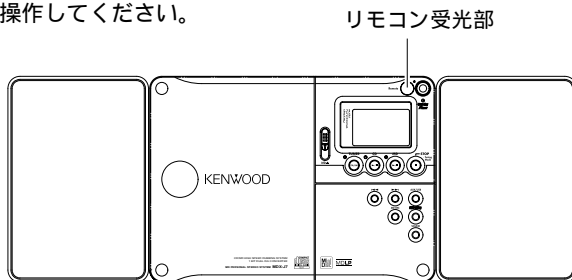
- AMラジオをMDに録音するときは、AMループアンテナを接続してください。

付属のACアダプターをAC100V、50/60Hzの電源コンセントへつなぎます。

- ACアダプターを抜くときは、壁側のプラグから先に抜いてください。
- ACアダプターと本体は離して使用してください。

POINT

- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなることや、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しするときは、必ずACアダプターを電源コンセントから抜いてください。
- ACアダプターを抜き差しするときは、必ずスタンバイ状態にしてください。

リモコンの操作

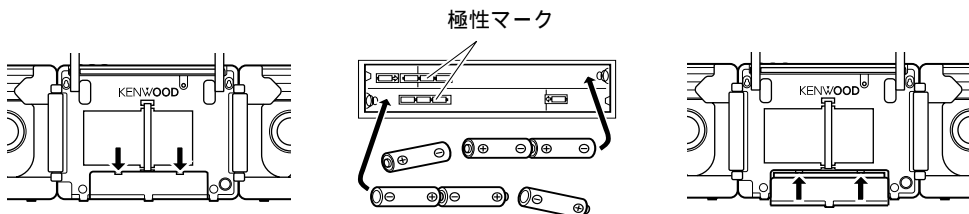
リモコンの操作範囲の目安は、本体のリモコン受光部から約6m以内です。本体のリモコン受光部の正面に向けて操作してください。

- リモコンに内蔵されているボタン電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。あらかじめご了承ください。
- リモコンで操作できる距離が短くなったら、新しいボタン電池と交換してください。（86ページ）
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために設置場所を変えてください。
- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、1秒以上の間隔をあけて押してください。

次ページに続く➔

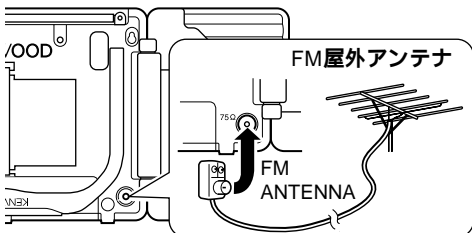
本体に乾電池（別売）を入れる

(1) 本体背面の乾電池ぶたをはずす。

(2) 単3アルカリ乾電池6個を極性マークに合わせて入れる。

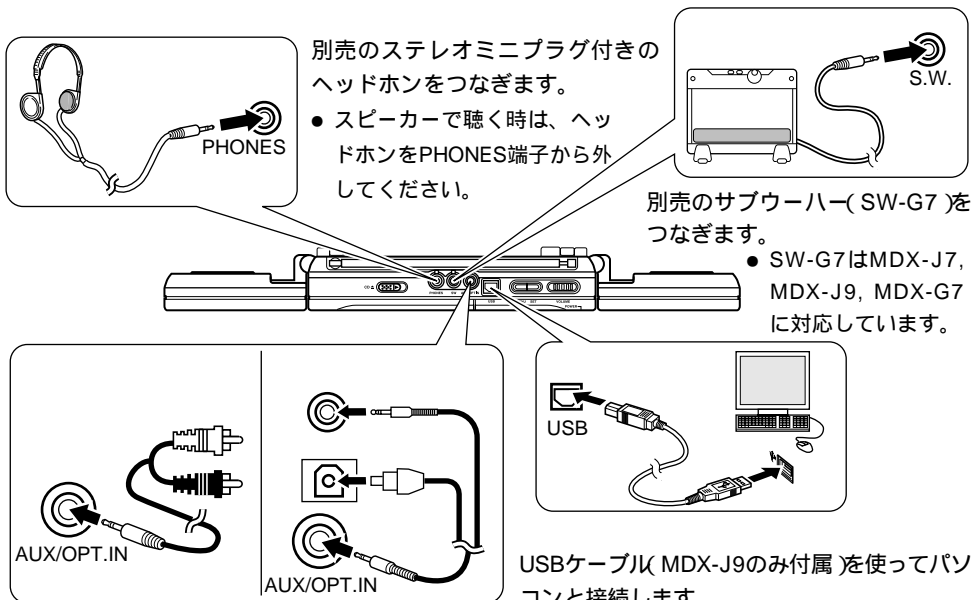
(3) 乾電池ぶたを閉める。

乾電池で本機を使用するときは、必ず本体背面のDC IN 8Vコネクター側からACアダプターコードのプラグを抜いてください。

- 本機を乾電池で使用すると、表示部にバッテリーインジケーターが表示されます。
  ：乾電池の残量が十分にあります。
  ：乾電池が消耗しています。
- 乾電池が消耗すると、" LOW BATTERY " が表示され、しばらくすると電源が切れます。6本とも新しい乾電池に交換してください。
- 乾電池で本機を使用しているときは、リモコンの ⏻ (電源)を押しても電源を入れることができません。またスタンバイ状態中は、Standby/Timerインジケーターは赤色に点灯しません。
- 乾電池で本機を使用しているときは、バックライトの設定は" OFF "になります。
- 長期間乾電池で本機を使用しないときや、常時ACアダプターで使用するときは、乾電池が液漏れすることがありますので、取り出しておいてください。

FM屋外アンテナを接続する

市販の75Ω同軸ケーブルを使用して屋内へ引き込み、FM ANTENNA端子に接続します。

- 屋外アンテナの設置は危険を伴いますので、販売店または専門の技術者にご依頼ください。

他の機器を接続する

接続するときは、各端子のキャップを外してから接続してください。

別売のステレオミニプラグ付きのヘッドホンをつなぎます。

- スピーカーで聴く時は、ヘッドホンをPHONES端子から外してください。

別売のサブウーハー（SW-G7）をつなぎます。

- SW-G7はMDX-J7, MDX-J9, MDX-G7に対応しています。

別売のMDプレーヤー、カセットデッキ、イコライザー内蔵のレコードプレーヤー（P-110）、CS/BSチューナーなどを市販のステレオミニプラグ付きのオーディオケーブルまたは、市販の光ケーブルを使って接続します。

- AUX IN端子は入力端子です。外部機器への録音はできません。
- 外部の機器を接続する時は、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- レコードプレーヤーを接続して、本機のすぐ横に置いた場合、音量を大きくした時などに"ワーン"というハウリング現象が起きる場合があります。この場合は、本機とレコードプレーヤーの間隔を離してお使いください。
- 外部機器の入力レベルは調整することができます。（36ページ）
- 別売のサブウーハー（SW-G7）をつないで録音するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。振動により、正しく録音できない場合があります。

USBケーブル（MDX-J9のみ付属）を使ってパソコンと接続します。

MDX-J7のとき：

パソコンからの音を聞くことができます。（市販のUSBケーブルをお使いください。）

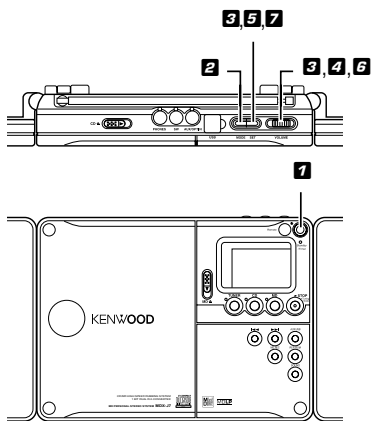
・接続するパソコンの条件については、73ページをご覧ください。
・パソコンとつなぐときは、本機とパソコンの電源を入れてからつないでください。（プラグアンドプレイ）
・初めてパソコンにつないだときは、最初にパソコン側で設定してください。（73ページ）

MDX-J9のとき：

パソコンからの音を聞くことができます。
また、Net MD機能を使って、パソコンから本機のMDに高速で音楽データを転送したり、パソコンから本機のMDの基本操作や、文字の入力ができます。

・ソフトウェアのインストールについては76ページをご覧ください。また、操作方法は、オンラインヘルプを参照してください。

時計を合わせる

タイマー機能を利用できるように、本機の時計を合わせてください。時間は12時間表示で表示されます。

本体のみ

1 ⏻（電源）キーを押して、電源を入れる

2 MODEキーを押す

3 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"TIME ADJUST?"を選び、SET/Demoキーを押す

4 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、"時"を合わせる

8時7分に合わせる例

昼の12時は"12:00pm"、夜の12時は"12:00am"と表示されます。

5 SET/Demoキーを押す

6 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、"分"を合わせる

7 SET/Demoキーを押す

- 時報と同時にSET/Demoキーを押すと、正確な時刻合わせができます。

POINT

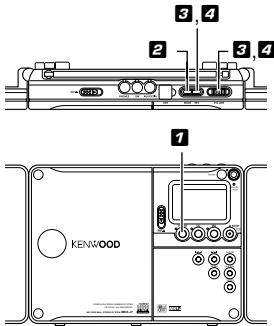
- 75分以上停電があったときや、ACアダプターをコンセントから抜いたり、乾電池を外して75分以上過ぎたときは、もう一度時刻合わせをしてください。

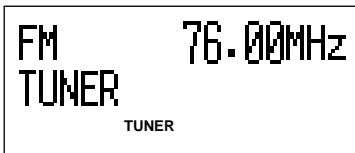
放送局を記憶させる

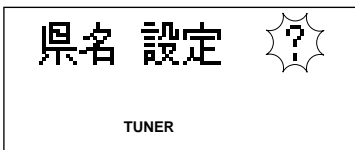
オートプリセット、マニュアルプリセット合わせて最大40局まで記憶させることができます。

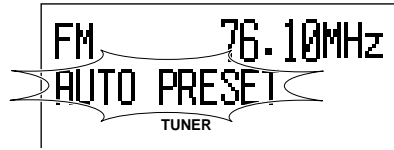
放送局を自動的に記憶させる

（オートプリセット）

お住まいの都道府県名を選択して、近くで受信できる放送局を自動的にプリセット（記憶）することができます。プリセットされたFM放送を受信する時は、放送局名が表示されます。

本体のみ

1 **TUNER FM/AMキーを押す**

2 **MODEキーを押す**

3 **VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"県名設定 ?"を選び、SET/Demoキーを押す**

4 **VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、お住まいの都道府県名を選び、SET/Demoキーを押す**

都道府県名は五十音順に並んでいます。
オートプリセットが始まると、表示部に"AUTO PRESET"が点滅します。
先にFM放送局をメモリーし、次にAM放送局をメモリーします。

オートプリセットが終了すると、最初にプリセットされた放送局名が表示されます。

放送局名の表示を変えるには

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。
希望する放送局名が表示されないときは、SET/Demoキーを押して放送局名を変えます。

POINT

- 表示される放送局名は「エリア別FM放送局名自動表示リスト」（20ページ）に記載されている局のみです。
- 新たにオートプリセットで自動設定すると、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
- お住まいの地域によっては、選局された放送局を良好に受信できない場合があります。

オートプリセットで放送局が記憶されないときは、マニュアルプリセットで記憶させてください（21ページ）。

次ページに続く➜

エリア別FM放送局名自動表示リスト（2001年10月現在）

	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR －G ’
	FMノースウェーブ	NORTH WAVE
東北地方	FM青森	エフエム青森
	FM岩手	エフエム岩手
	FM仙台	Date fm
	FM秋田	エフエム秋田
	FM山形	BOY－FM
	FM福島	ふくしまFM
関東地方	FM東京	TOKYO FM
	FMジャパン	J－WAVE
	横浜FM放送	Fm yokohama 84.7
	FMインターウェーブ	InterFM
	放送大学	放送大学
	FMサウンド千葉	BayFM
	FM群馬	FMぐんま
	FM栃木	RADIO BERRY
	FM埼玉	NACK5
	FM富士	FM－FUJI
中部地方	FMラジオ新潟	FM-NIIGATA
	新潟県民エフエム	FmPort.com
	長野FM放送	FM長野
	北日本放送	KNB北日本放送
	富山FM放送	FMとやま
	FM石川	FM石川
	福井FM放送	FM福井

	放送局	表示名
中部地方	静岡FM放送	K・MIX
	FM愛知	FM AICHI
	FM名古屋	ZIP－FM
	愛知国際放送	RADIO－i
	岐阜FM放送	FM岐阜
近畿地方	三重FM放送	FM三重
	FM京都	α-STATION
	FM滋賀	e－radio
	FM大阪	fm osaka
	FM802	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫FMラジオ放送	Kiss-FM KOBE
中国・四国地方	FM岡山	FM岡山
	FM山陰	エフエム山陰
	広島FM放送	広島FM
	FM山口	エフエム山口
	FM徳島	fm-tokushima
	FM香川	FM香川
	FM愛媛	FM愛媛
	FM高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	FM福岡	fm fukuoka
	FM九州	CROSS FM
	九州国際FM	Love FM
	FM佐賀	FM佐賀
	FM長崎	SMILE－FM
	FM中九州	FM中九州
	FM大分	FM大分
	FM宮崎	JOY FM
	FM鹿児島	エフエム鹿児島
	FM沖縄	FM Okinawa
	AFN沖縄	AFNオキナワ
	NHK 第一放送	NHKラジオ第１

放送局を手動で記憶させる
(マニュアルプリセット)

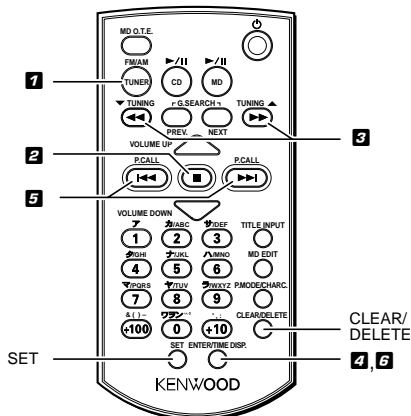
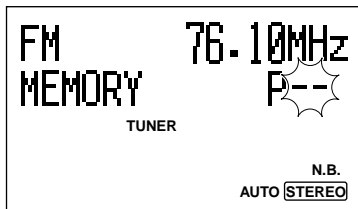
お好みの放送局だけを選んで、1局ずつ記憶(プリセット)できます。

リモコンのみ

1 TUNER FM/AMキーを繰り返し押して、"AM"または"FM"を選ぶ

2 ■(停止)キーを押して、"AUTO"を点灯させる

"AUTO"が点灯

3 TUNING▼キーまたはTUNING▲キーを押して、記憶させたい放送局を受信する

4 受信中にENTERキーを押す

5 ⏮ P.CALLキーまたは⏭ P.CALLキーを押して、プリセットナンバーを選ぶ

⏮キーまたは⏭キーを押したままにすると、プリセットナンバーをスキップします。
数字キーで選ぶこともできます。

例: 13局目:+10、3
20局目:+10、+10、0

6 もう一度ENTERキーを押す

続けてプリセットするには

手順1～6を繰り返します。

電波の弱いラジオ局をプリセットするには

手順2で■(停止)キーを押して"AUTO"を消灯させ、マニュアル選局にします。

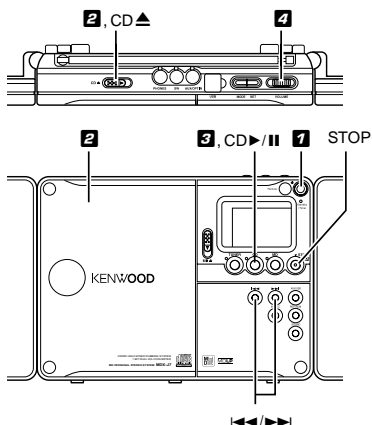
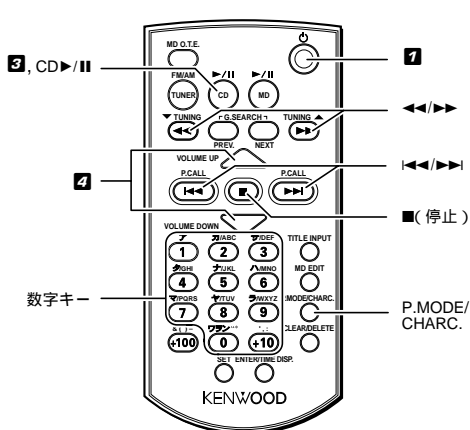
POINT

- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

プリセットした放送局を消去するには

プリセット選局し、リモコンのCLEAR/DELETEキーを押すとプリセット番号とCLEAR?が8秒間表示され、その間にSETキーを押すとプリセットした放送局を消去することができます。
消去されたプリセット番号以降のプリセット番号は前に調整されます。
ただし、40局目は消去されません。

CDを聴く

CDを再生してみましょう。

1 ⏻（電源）キーを押して、電源を入れる

2 CDを入れる

(1) CD⏏キーをスライドさせて、
CDドアを開ける。
(2) CDを入れる。
(3) CDドアを閉める。

3 CD ▶/IIキーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、音量を調整する または、リモコンのVOLUME UPキー、VOLUME DOWNキー押す

キーの操作

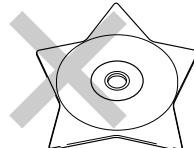
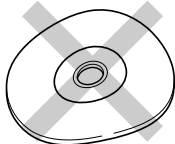
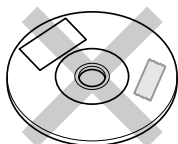
目的	操作
停止する	STOPキー（リモコンは■（停止）キー）を押す。
一時停止する	CD ►/❚❚キーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶ時は、►►❙キーを押す。 前の曲を選ぶ時は、❙◄◄キーを押す。
早送りをする	再生中リモコンの►►キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◄◄キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番をリモコンの数字キーを使って入力する。 **例:**10曲目:+10、0　23曲目:+10、+10、3 "PGM"が点灯しているときは、停止中にリモコンのP.MODE/CHRAC.キーを押して消灯させてください。

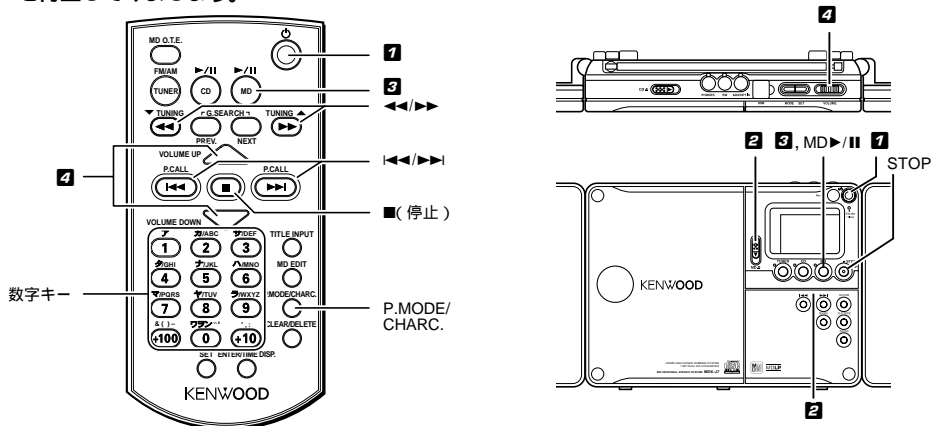
ディスクを取り出すには

再生を止めてからCD▲キーをスライドさせて、CDドアを開けます。

POINT

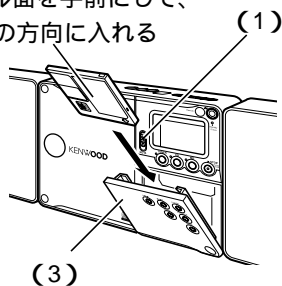
- あらかじめCDを入れておくと、スタンバイ状態中（103ページ）にCD ►/❚❚キーを押すだけで電源が入り、再生が始まります（ワンタッチオペレーション）。
- 本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルが自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。
- 再生できるCDについては、「本機で使用できるディスクについて」（84ページ）をご覧ください。

変形CD（星形、ハート形等）、ひび割れがある、大きく反ったディスク、ディスク保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

MDを聴く

MDを再生してみましょう。

1 ⏻（電源）キーを押して、電源を入れる

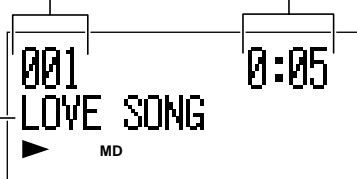
2 MDを入れる

MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

(1) MD⏏キーを下方向へスライドさせて、MDホルダーを開ける。
(2) MDを挿入口へ確実に差し込む。
(3) MDホルダーを閉める。

3 MD ►/IIキーを押す

再生中の曲番号　　再生中の曲の経過時間

001　　0:05
LOVE SONG
►　MD

曲タイトル（曲タイトルが記録されていないときは「・・・・・」を表示）

4 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、音量を調整する
または、リモコンのVOLUME UPキー、VOLUME DOWNキーを押す

キーの操作

目的	操作
停止する	STOPキー（リモコンは■（停止）キー）を押す。
一時停止する	MD▶/❚❚キーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶ時は、▶▶❙キーを押す。 前の曲を選ぶ時は、❙◀◀キーを押す。
早送りをする	再生中リモコンの▶▶キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◀◀キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番をリモコンの数字キーを使って入力する。 **例**　10曲目：+10、0　23曲目：+10、+10、3 "PGM"、"GROUP"が点灯しているときは、停止中にリモコンのP.MODE/CHARC.キーを押して消灯させてください。

※グループ分けされているMDを聴くときは、「MDのグループを選んで再生する（GROUP）」（37ページ）をご覧ください。

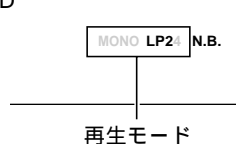
ディスクを取り出すには

再生を止めてから、MD⏏キーを下方向にスライドさせます。

MDの再生モード表示について

MDの曲は、録音したときのモードにしたがって再生されます。再生が始まると、再生モードが表示されます。停止中は"REC MODE"が表示されます。

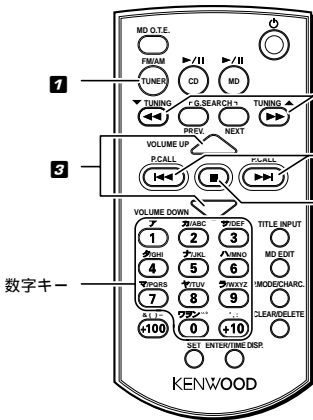
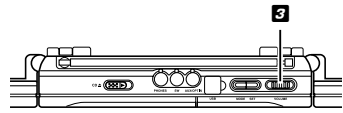
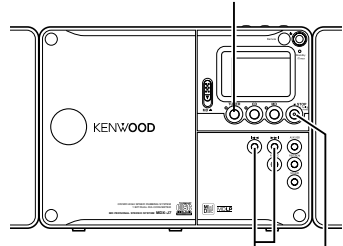
消灯　：標準ステレオ録音した曲（*MDLPに対応していないMDレコーダーで録音した曲）を再生しているとき
MONO　：モノラル長時間録音した曲を再生しているとき
LP2　：ステレオ2倍長時間録音した曲を再生しているとき
LP4　：ステレオ4倍長時間録音した曲を再生しているとき

MONO LP2 4 N.B.
再生モード

* MDLP は、MD 規格に適合した新しい音声圧縮方式ATRAC3 を採用して、ステレオ2倍（または4倍）長時間録音・再生モードの機能を持ったMD レコーダーやMDプレーヤー、またはATRAC3による音声録音されているMD メディア（再生専用MD）に表示されています。

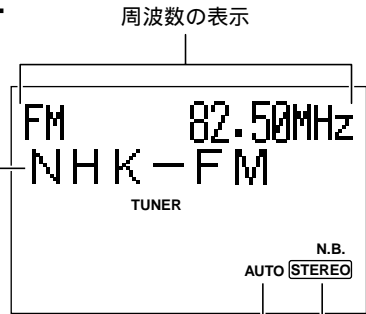
POINT

- あらかじめMDを入れておくと、スタンバイ状態中（103ページ）にMD▶/❚❚キーを押すだけで電源が入り、再生が始まります（ワンタッチオペレーション）。
- MDにタイトルが記録されているときは、MDに記憶されているディスクのタイトルまたは曲のタイトルが表示されます。

ラジオを聴く

あらかじめ記憶(プリセット)させた放送局をワンタッチで選んで聴くことができます。
プリセットのしかたについては「放送局を記憶させる」(19〜21ページ)をご覧ください。

1 TUNER FM/AMキーを押す

2 |◀◀P.CALLキーまたは▶▶|P.CALLキーを押して、放送局を選ぶ

押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

3 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、音量を調整する または、リモコンのVOLUME UPキー、VOLUME DOWNキーを押す

数字キーで放送局を選ぶには

聴きたいラジオ局のプリセット番号をリモコンの数字キーを使って入力します。

例　23局目：+10、+10、3　40局目：+10、+10、+10、+10、0

記憶させていない放送局を選ぶ

受信状態によって、オート選局とマニュアル選局を切り換えることができます。

本体：

(1)　Tuning Mode(STOP)キーを押して、オート選局またはマニュアル選局を選ぶ。

"AUTO"点灯：受信の状態が良いときはオート選局モード(ステレオ受信)を選びます。"AUTO TUNING"が数秒間表示されます。

"AUTO"消灯：雑音が入るときはマニュアル選局モード(モノラル受信)を選びます。"MANUAL TUNING"が数秒間表示されます。

- 通常は、"AUTO"(オート選局、ステレオ受信)にしておきます。

(2)　"AUTO TUNING"または"MANUAL TUNING"が表示されている間に、⏮キーまたは⏭キーを押して選局する。

オート選局：押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局：希望する放送局を受信するまで押し続けます。

リモコン：

(1)　■(停止)キーを押して、オート選局またはマニュアル選局を選ぶ。

"AUTO"点灯：受信の状態が良いときはオート選局モード(ステレオ受信)を選びます。

"AUTO"消灯：雑音が入るときはマニュアル選局モード(モノラル受信)を選びます。

- 通常は、"AUTO"(オート選局、ステレオ受信)にしておきます。

(2)　TUNING▼キーまたはTUNING▲キーを押して選局する。

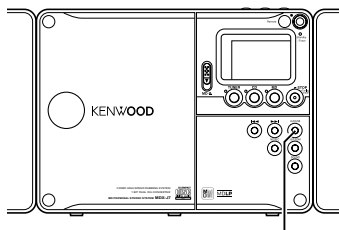
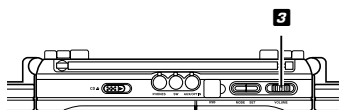
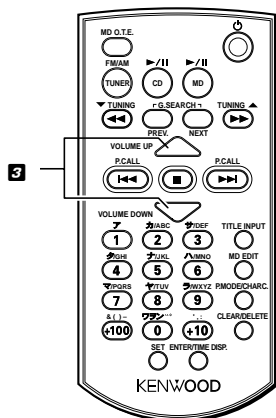
オート選局：押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局：希望する放送局を受信するまで押し続けます。

POINT

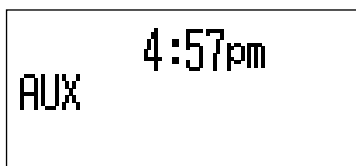
- スタンバイ状態中(103ページ)にTUNER FM/AMキーを押すだけで電源が入り、受信状態になります。(ワンタッチオペレーション)
- 選局時に⏮P.CALLキーまたは⏭P.CALLキーを押したままにすると放送局をスキップします。
- 選局モードが "AUTO" の時にステレオ放送を受信すると、"STEREO"表示が点灯します。

外部入力機器からの音を聴く

外部入力機器からの音を聴いてみましょう。

1 **AUX/USBキーを押して、外部入力機器を選ぶ。**

押すたびに、外部入力機器が切り換わります。

→ **AUX → DIGITAL AUX → USB** ─┐（USBからAUXへ戻る）

4:57pm
AUX

2 **接続した機器を再生する**

3 **VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、音量を調整する**
または、リモコンのVOLUME UPキー、VOLUME DOWNキーを押す

パソコンからの音を聴くとき

USB端子を使って初めてパソコンとつなぐときは、最初にパソコン側で設定をしてください。（73ページ）
すでにパソコン側で設定されているときは、下記の手順で操作してください。

(1) パソコンの電源を入れパソコンが起動してから、本機とUSBケーブルを使ってつなぐ。

パソコンが本機を検出します。
本機とパソコンをUSBケーブルで接続するとUSBマークが表示されます。

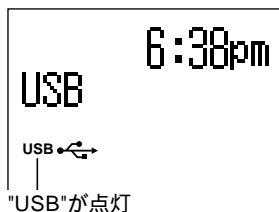
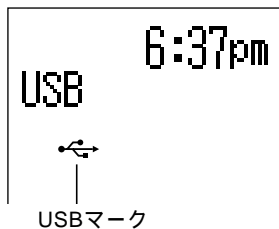
- パソコンが本機を検出中は、USBケーブルを抜き差ししないでください。
- 数秒間待っても本機が検出されないときは、次のことを行ってください。
  - ・USBケーブルをもう一度接続し直す。
  - ・正しくインストールされているか確認する。（74ページ）
  - ・パソコンを再起動してみる。

(2) AUX/USBキーを押してUSBを選ぶ。

(3) パソコン側で再生操作をする。

パソコンからの音声信号が入力されると"USB"が点灯します。

- パソコン側の操作は、パソコンの説明書及び音声を再生するソフトウェアの説明書をご覧ください。

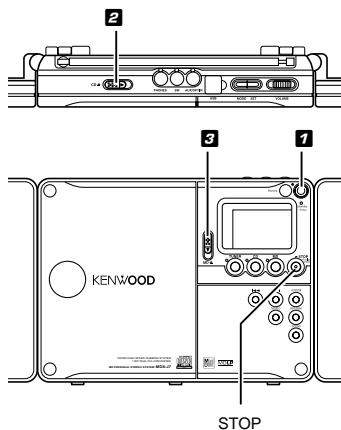
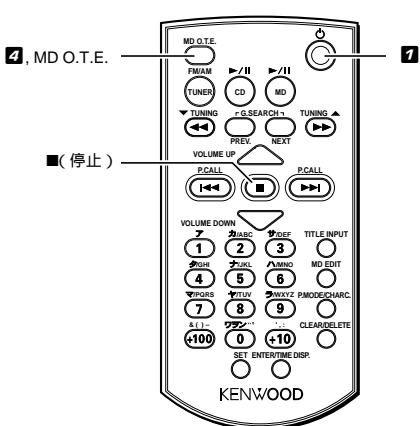
(4) 本機で音量の調整などの操作をする。

POINT

- DIGITAL AUXで外部入力機器の音を聴いているときにMDを出し入れすると、音が途切れます。
- 接続された外部機器からの入力レベルは調整することができます。（36ページ）
- 本機のUSB端子は、Windows®98 SE/Windows®Me/Windows®2000 Professional/Windows®XP Home Edition/Windows®XP Professional（すべて日本語版）のパソコンに対応しています。
- USB端子を使ってパソコンとつなぐときは、本機とパソコンの電源が入っているときにつないでください。
- 本機のUSB端子は入力端子です。本機で再生した音をパソコン側に記録させることはできません。
- 本機とパソコンが接続されていて、両方の電源が切れているときは、本機の方から電源を入れてください。

MDX-J9のとき

- USB端子を使ってパソコンとつなぎ、Net MD機能をお使いになるときは、「Net MD（MDX-J9のみ）」（76ページ）をご覧ください。

CDをMDに録音する（MD O.T.E.）

CDの全曲をワンタッチでMDに録音（全曲録音）できます。今聴いている曲をワンタッチで曲の始めから録音（1曲録音）することもできます。

1 ⏻（電源）キーを押して、電源を入れる

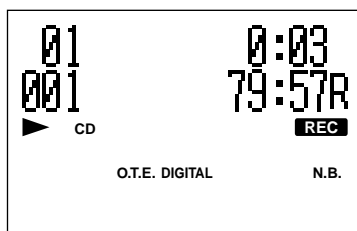
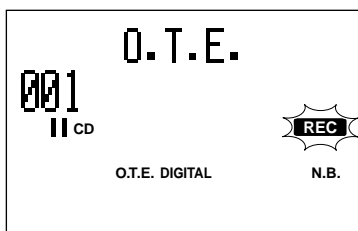
2 CDを入れる

22ページを参照してください。

3 録音可能なMDを入れる

24ページを参照してください。

4 リモコンのMD O.T.E.キーを押す

CDの1曲目から録音が始まります。

今聴いているCDの曲を録音する（1曲録音）

(1) 録音したいCDの曲を再生する。

(2) リモコンのMD O.T.E.キーを押します。
再生中の曲の最初に戻ってから、録音が始まります。

録音を途中でとめるには

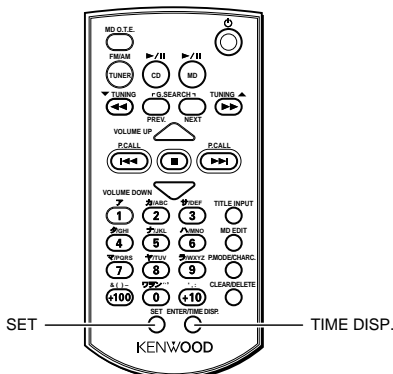
STOPキー（リモコンは■（停止）キー）を押します。
再生、録音とも停止します。

POINT

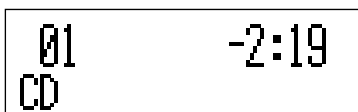
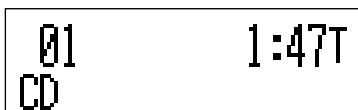
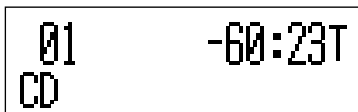
- 録音中や"MD WRITING"表示中にMD⏏キーを下方向へスライドさせてMDホルダーを開けようとすると、"LOCKED"が表示されてMDホルダーを開けることはできません。
- "MD WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"MD WRITING"が完了する前にACアダプターまたは乾電池を抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- 録音可能なMDについては、「MDの取り扱いかた」（85ページ）をご覧ください。
- CDをMDに倍速で録音することもできます。（45ページ）
- プレイモードがランダムのときは、MD O.T.E.録音ができません。ランダムを解除してから操作してください。（39ページ）
- MD O.T.E.録音のときは、デジタル録音になります。
- 「録音モードの設定」で設定された録音モードで録音されます。（40ページ）
- MD O.T.E.録音（CDの全曲をMDに録音する場合のみ）をする前に、あらかじめグループ録音の設定を"ON"にしておくと録音した曲が１つのグループに登録されます。「グループ録音の設定」（40ページ）をご覧ください。
- 録音した曲をグループに登録することができます。「グループを作る（GROUP START）」（64ページ）をご覧ください。

表示について

CDやMDの時間表示や情報を見たり、表示部の明るさを調整することができます。

CDの表示を見る

リモコンのTIME DISP. (ENTER)キーを押すたびに、表示部の表示が切り換わります。

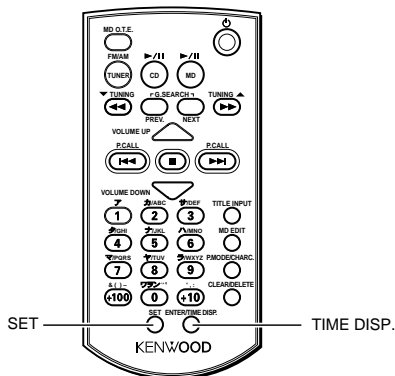
1. 再生中の曲の経過時間

2. 再生中の曲の残り時間

3. ディスク全体の経過時間

4. ディスク全体の残り時間

POINT

- 1曲リピート再生やランダム再生のときは、1と2のみ表示します。
- 表示時間が100分以上になると、"- - : - - "と表示されます。

テキスト情報を見るには(CD-TEXT)

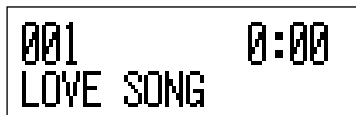
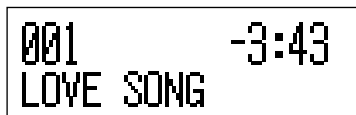
CD-TEXT対応のCDを再生すると、CDに収録されているテキスト情報（ディスクのタイトルまたは曲のタイトル）が自動的に表示されます。テキスト情報が表示部に表示しきれないときはリモコンのSETキーを押します。表示がスクロールして、表示されていなかった部分を確認することができます。

MDの表示を見る

リモコンのTIME DISP. (ENTER)キーを押すたびに、表示部の表示が切り換わります。

停止中

1. 1曲目の経過時間（0：00表示）

2. 1曲目の残り時間

001 -3:43
LOVE SONG

3. トータル再生時間

```
001     -35:02T
LOVE SONG
```

4. ディスク全体の空き時間

```
001      38:58R
LOVE SONG
```

再生／一時停止中

1. 曲の経過時間

```
003       0:15
Dream
```

2. 曲の残り時間

```
003      -3:02
Dream
```

POINT

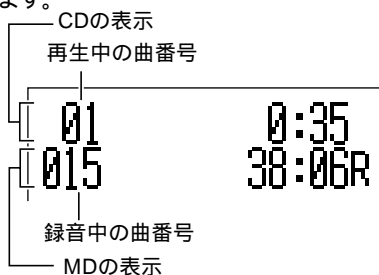
- 表示時間が324分以上になると、"- - : - - "と表示されます。

CDを録音中

上の行がCDの表示、下の行がMDの表示になります。

CDの表示
再生中の曲番号

```
 01       0:35
015      38:06R
```

録音中の曲番号
MDの表示

1. CD再生中の曲の経過時間とMD録音可能時間

```
 01       0:35
015      38:06R
```

2. CD再生中の曲の残り時間とMD録音可能時間

```
 02      -1:03
016      37:42R
```

3. CD全体の経過時間とMD録音可能時間

```
 03       3:30T
017      35:24R
```

4. CD全体の残り時間とMD録音可能時間

```
 04      -6:53T
018      31:27R
```

CD以外のソースを録音中

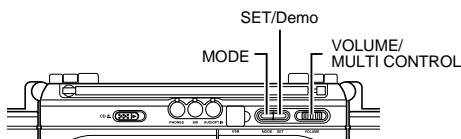
リモコンのTIME DISP. (ENTER)キーを押すたびに、録音可能時間と録音経過時間の表示が切り換わります。

MDのタイトルを見るには

MDにディスクのタイトルや曲のタイトルが記録されているとき、停止中はディスクのタイトル、再生中は曲のタイトルが自動的に表示されます。
グループ再生のときは、停止中はグループタイトル、再生中は曲のタイトルが自動的に表示されます。
タイトルが表示部に表示しきれないときはリモコンのSETキーを押すと、表示がスクロールされ表示されていなかった部分を見ることができます。
また、"カナ"表示と"漢字"表示を切り替えるときも、SETキーを押します。

POINT

- タイトルが記録されていないときは、「・・・・・」と表示されます。

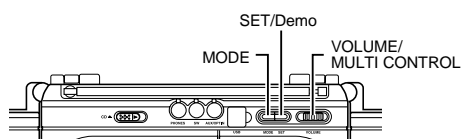
コントラストを調整する

本体のみ

1 **MODEキーを押す**

2 **VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"CONTRAST ?"を選び、SET/Demoキーを押す**

3 **VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、好みのコントラストに調整し、SET/Demoキーを押す**

0から6の範囲で調整できます。

バックライトを調整する

本体のみ

1 **MODEキーを押す**

2 **VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"BACK LIGHT ?"を選び、SET/Demoキーを押す**

BACK LIGHT
HIGH

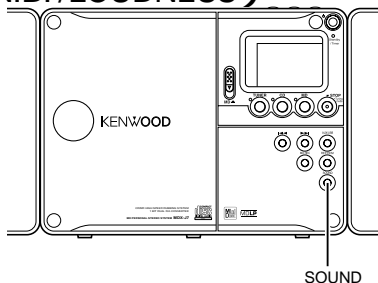
3 **VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、好みの明るさを選び、SET/Demoキーを押す**

HIGH　：最も明るくなります。
LOW　：明るさを押さえます。
OFF　：表示部が暗くなります。

POINT

- おやすみタイマーが設定されているときは、バックライトを調整することはできません。
- 乾電池で使用しているときは、明るさを"OFF"に設定することをおすすめします。乾電池を長持ちさせることができます。

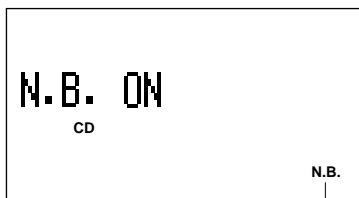
音質を調整する

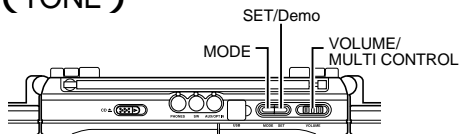
低音と高音を強調する（N.B. /LOUDNESS）

SOUNDキーを繰り返し押して、好みの音質を選ぶ

"N.B."： 音量にかかわらず低音域を強調します。"N.B. ON"がスクロール表示されます。

"LOUD"：音量に合わせて低高音域を強調します（小音量時に有効です）。"LOUD-NESS ON"がスクロール表示されます。

消灯： TONE機能で設定した音質になります。"TONE"がスクロール表示されます。

N.B.を選んだとき

"N.B."が点灯

低音と高音を細かく調整する（TONE）

1 MODEキーを押す

TONE CONT. ?

2 低音を調整するときは、SET/Demoキーを1回押す 高音を調整するときは、SET/Demoキーを2回押す

高音の調節を選んだとき

3 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、好みの音質に調整する

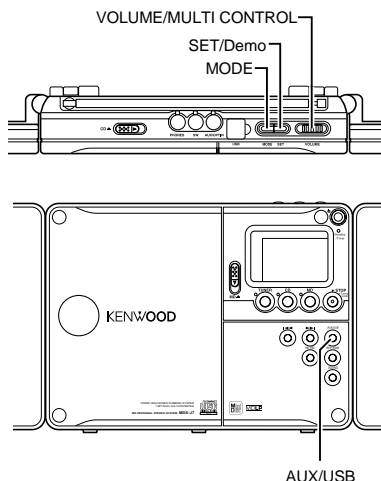
－8から+8の範囲で調整できます。

4 SET/Demoキーを押す

POINT

- "N.B."または"LOUD"が点灯中に音質を調整すると、"N.B."または"LOUD" は解除されます。
- "N.B."または"LOUD"、"TONE"効果の音は、録音には反映されません。

外部入力レベルを調整する

AUX IN入力端子やUSB入力端子接続された外部機器（MDプレーヤー、CS/BSチューナー、パソコンなど）からの入力レベルを調整します。CD, MDなどと同じくらいの大きさで聞こえるように調整してください。

本体のみ

例：AUXのとき

1 AUX/USBキーを押して、"AUX"を選ぶ

USBのときは、"USB"を選びます。

2 接続した機器を再生して、音量を確認する

3 MODEキーを押す

4 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"AUX INPUT ?"を選び、SET/Demoキーを押す

USBのときは、"USB INPUT ?"を選びます。

5 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、入力レベルを微調整する

AUXのときは、－4から+3の範囲で調整できます。

USBのときは、－7から0の範囲で調整できます。

レベルを－2に調整したとき

AUX INPUT
LEVEL -2

6 SET/Demoキーを押す

MDのグループを選んで再生する(GROUP)

MDのグループを選んで、グループの曲だけを聴くことができます。
停止中に操作します。

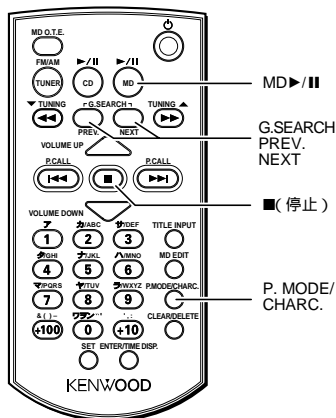
リモコンのみ

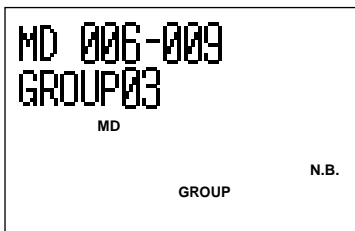
1 MD ▶/II キーを押す

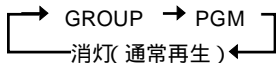
2 ■(停止)キーを押す

3 P.MODE/CHARC.キーを押して"GROUP"を点灯させる

P.MODE/CHARC.キーを押すたびに次のように変わります。

"GROUP"点灯

4 G.SEARCH PREV.キーまたはG.SEARCH NEXTキーを押して、聴きたいグループを選ぶ

"GROUP03"を選んだときの表示例

5 MD ▶/II キーを押す

選んだグループの曲が再生されます。
選んだグループの最後の曲の再生が終わると、停止します。

別のグループを再生するとき

G.SEARCH PREV.キーまたはG.SEARCH NEXTキーを押して、聴きたいグループを選びMD▶/IIキーを押します。

グループ再生をやめるには

■(停止)キー(本体はSTOPキー)を押します。

通常の再生に戻すには

停止中にP.MODE/CHARC.キーを2回押して、"GROUP"を消灯させます。

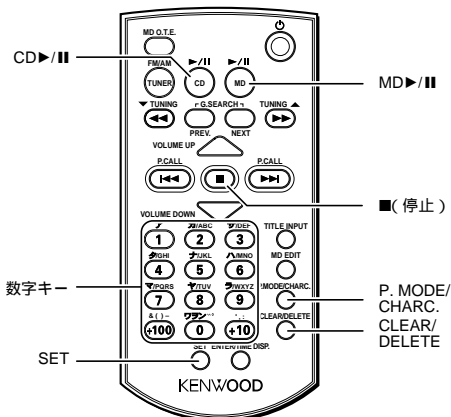
POINT

- グループ録音したMDを、グループ機能に対応していない機器で再生すると、ディスクタイトルに数字や記号が表示され、正しく表示されません。このような場合に、グループ機能に対応していない機器でディスクタイトルの編集をすると、グループ情報が消去されますので、ご注意ください。

CDやMDの曲順を並べ替えて聴く(PGM)

好きな曲を好きな順番に、最大32曲までプログラムして聴くことができます。
停止中に操作します。

リモコンのみ

1 CDの時：CD▶/IIキーを押す MDの時：MD▶/IIキーを押す

2 ■(停止)キーを押す

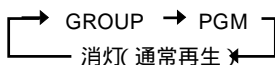
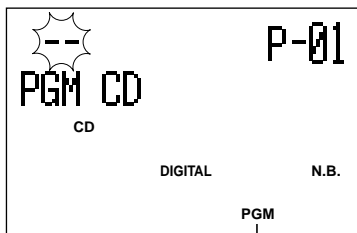
3 P. MODE/CHARC.キーを押して"PGM"を点灯させる

P.MODEキーを押すたびに次のように変わります。

CDのとき：

PGM ↔ 消灯(通常再生)

MDのとき：

→ GROUP → PGM → 消灯(通常再生) →

CDをプログラムするとき

"PGM"点灯

4 聴きたい曲を選ぶ

数字キーを押す順序の例：
23曲目：+10、+10、3
40曲目：+10、+10、+10、+10、0

5 SETキーを押す

手順4, 5を繰り返して、好みの曲順にプログラムします。

6 CDの時：CD▶/IIキーを押す MDの時：MD▶/IIキーを押す

プログラム再生をやめるには

■(停止)キー(本体はSTOPキー)を押します。

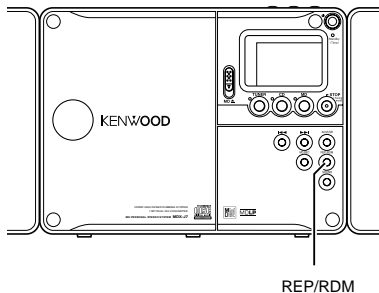
プログラムした曲を取り消すには

停止中にCLEAR/DELETEキーを押します。押すたびに最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
一度に全部消すとき、または、解除したいときは、停止中にP.MODE/CHARC.キーを押します。

POINT

- "PROGRAM FULL"が表示されると、それ以上曲を選ぶことはできません。

CDやMDのプレイモードを変える(REPEAT/RANDOM)

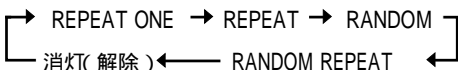
**お気に入りの曲を繰り返し聴いたり、順不同に再生することができます。プログラム再生やグループ再生を繰り返して聴くこともできます。
再生中または停止中に操作できます。**

本体のみ

プレイモードを選ぶ前に

グループを選んで聴きたいときは「MDのグループを選んで再生する(GROUP)」(37ページ)を行って、先にグループを選んでください。
お気に入りの曲を繰り返して聴きたいときは「CDやMDの曲順を並べ替えて聴く(PGM)」(38ページ)を行って、あらかじめお好みの曲順にプログラムしてください。"PGM"が点灯しているときは、"REPEAT"だけ選べます。

REP/RDMキーを繰り返し押して、プレイモードを選ぶ

押すたびにプレイモード表示が次のように切り換わります。

→ REPEAT ONE → REPEAT → RANDOM →
消灯(解除) ← RANDOM REPEAT ←

"REPEAT ONE"を選んだとき

"REPEAT ONE"点灯

	通常再生のとき	MDのグループ再生のとき("GROUP"点灯)
REPEAT ONE	1曲だけを繰り返します。	
REPEAT	ディスク全曲を繰り返します。	グループ内の全曲を繰り返します。
RANDOM	ディスク全曲を順不同にランダム再生します。	グループ内の全曲を順不同にランダム再生します。
RANDOM REPEAT	ディスク全曲のランダム再生を繰り返します。	グループ内の全曲をランダム再生で繰り返します。

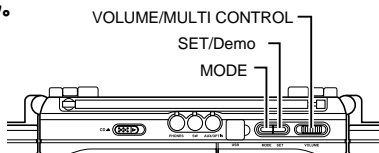
プレイモードを解除するときは

REP/RDMキーを繰り返し押して、プレイモード表示を消灯させせます。

POINT

- ランダム再生は、全曲の再生が1回終わると停止します。
- 再生中に"RANDOM"または"RANDOM REPEAT"を選んだときは、再生中の次の曲からランダム再生が始まります。

グループ録音の設定

本機は４倍の長時間録音ができるので、１枚のMDにたくさんの曲を録音することができます。
MD O.T.E.録音（CDの全曲をMDに録音する場合のみ）（30ページ）をする前に、あらかじめグループに分けて録音する設定にしておくと、アーティストやアルバムごとにグループに分けて録音できます。また、そのMDはグループを選んで再生することができます。
MD O.T.E.録音を開始した曲から録音を終了した曲までが１つのグループになります。
グループ録音の設定は次に変更するまで変わりません。

本体のみ

1 **MODEキーを押す**

2 **VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"GROUP MAKE ?"を選び、SET/Demoキーを押す**

3 **VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、"ON"を選び、SET/Demoキーを押す**

```
GROUP MAKE
      OFF >ON
```

POINT

- グループ録音したMDを他のグループ機能に対応していない機器で再生すると、録音した曲の順に再生します。
- 録音したいMDに、すでに99のグループが登録されている場合は、グループ録音の設定が"ON" になっていてもグループ録音はされません。

録音モードの設定

本機は、MDのステレオ長時間録音に対応しています。（MDLP対応機器です）
録音モードにはステレオ録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音、モノラル長時間録音があり、本機のMDで録音できる全ての音楽ソースに使用できます。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音モードは、録音中以外のときに設定できます。録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

録音モードの種類

ステレオ録音（STEREO）：録音可能時間はＭＤカートリッジに表示されている時間になります。

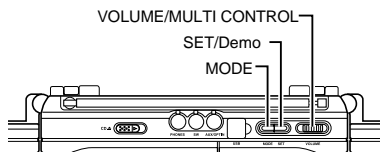
ステレオ2倍長時間録音（LP2）：音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

ステレオ4倍長時間録音（LP4）：音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約4倍の時間になります。

モノラル長時間録音（MONO）：音声はモノラルで、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

スタンプ（STAMP）機能

ステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音するときに、曲タイトルの始めの部分に「LP：」をつける機能です。お好みに応じて、スタンプ（ＳＴＡＭＰ）機能のＯＮ（「LP：」をつける）またはOFF（「LP：」をつけない）を設定してください。

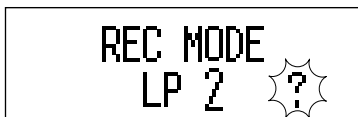
VOLUME/MULTI CONTROL
SET/Demo
MODE

本体のみ

1 MODEキーを押す

2 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"REC MODE ?"を選び、SET/Demoキーを押す

現在設定されている録音モードが表示されます。

3 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、録音モードを選ぶ

LP2を選んだとき

4 SET/Demoキーを押す

"STEREO"または"MONO"を選んだときは、録音モードを設定する前の表示に戻ります。
"LP2"または"LP4"を選んだときは、スタンプ(STAMP)機能を設定する表示になりますので、手順5へ進んでください。

5 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"ON"または"OFF"を選び、SET/Demoキーを押す

曲タイトルの始めの部分に「LP：」を入れるときは、"ON"を選びます。
曲タイトルの始めの部分に「LP：」を入れないときは、"OFF"を選びます。

「LP：」を入れるとき

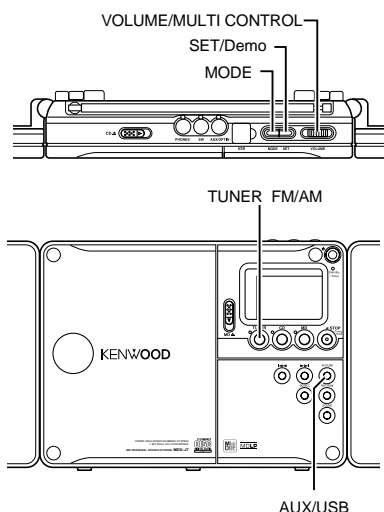
LP: STAMP
OFF >ON

POINT

- ステレオ2倍長時間録音(LP2)またはステレオ4倍長時間録音(LP4)で録音された曲は、MDLPに対応していない機器で再生することはできません。対応していない機器で再生すると、無音状態になります。スタンプ機能を使って録音したときは、曲タイトル表示の部分に「LP：」が表示されます。
- ステレオ4倍長時間録音(LP4)での録音は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。
音質を重視する録音をする場合は、ステレオ録音(STEREO)か、ステレオ2倍長時間録音(LP2)をおすすめします。

トラックマーク機能の設定

（TRACK MARK）

再生中に曲の頭出しをするときやプログラムをするときには、曲番号を使用します。トラックマーク機能の設定では、この曲番号の付け方を、自動(AUTO)または手動(MANUAL)のどちらで付けるかを設定します。
トラックマーク機能は、音楽ソースがラジオまたはAUXで、アナログ録音するときのみ設定してください。また、録音中以外のときに設定してください。

本体のみ

1 トラックマーク機能を設定する音楽ソースを選ぶ

ラジオからの音を録音するとき：
TUNER FM/AMキーを押す
AUXからの音を録音するとき：
AUX/USBキーを押し“ AUX ”を選ぶ

2 MODEキーを押す

3 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"TRACK MARK?"を選ぶ

4 SET/Demoキーを押す

現在の設定が表示されます。

5 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"AUTO"または"MANUAL"を選び、SET/Demoキーを押す

ラジオのとき：
"AUTO"を選ぶと、録音中10分ごとに曲番号をつけます。
"MANUAL"を選ぶと、録音中MD EDITキーを押したときだけ曲番号をつけます。
AUXのとき：
"AUTO"を選ぶと、録音中音の無い部分が２秒以上続いた後、次の音が入るときに曲番号をつけます。
"MANUAL"を選ぶと、録音中MD EDITキーを押したときだけ曲番号をつけます。

AUTOを選んだとき

TRACK MARK
AUTO
TUNER

POINT

- 録音する音楽ソースがAUXのとき、トラックマーク機能の設定を"AUTO"にすると、クラシック音楽などで小さい音が続いたときも曲番号がつきます。また、録音する音楽ソースによってはノイズなどにより、曲番号がくり上がらない場合もあります。

MDに録音する

お好みの音楽ソースをMDに録音することができます。あらかじめ設定された録音モード(41〜42ページ)で録音されます。

本体のみ

1 録音可能なMDを入れる

2 録音する音楽ソースを選ぶ

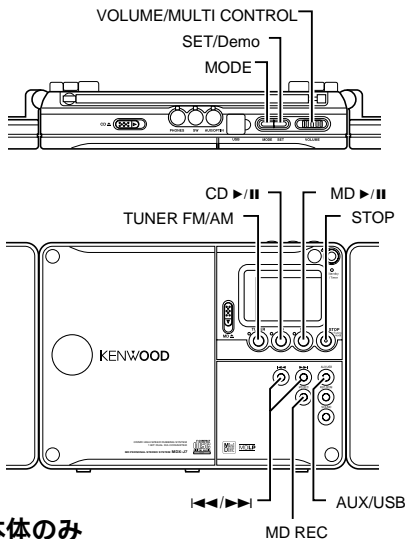
CD：CD ▶/❚❚キーを押す。

すでにCDが入っているときは、再生が始まりますので、STOPキー(リモコンは■(停止)キー)を押して停止させます。

ラジオ：TUNER FM/AMキーを押す。

外部入力：AUX/USBキーを押して録音する音楽ソースを選ぶ。ただし、USBの音は録音できません。

3 MD RECキーを押す

録音一時停止状態になります。

CDを録音するとき

4 録音する音楽ソースの準備ができたら、もう一度MD RECキーを押す

5 録音する音楽ソースを再生する

録音をやめるには

STOPキー(リモコンは■(停止)キー)を押します。

録音を一時停止するには

録音中にMD ▶/❚❚キーを押します。
この状態から再び録音を始めるときは、MD ▶/❚❚キーまたはMD RECキーを押します。

メッセージが表示されて録音できないときは

「メッセージ表示の一覧」(90〜91ページ)をご覧ください。

CDをMDにシンクロ録音する

CDの再生とMDの録音を同時に始めることができる便利な機能です。

(1) CD▶/❚❚キーを2回押してCDを再生一時停止状態にする。

(2) ❙◀◀キーまたは▶▶❙キーを押して録音したい曲を選ぶ。
選んだ曲の始めで、再生一時停止状態になります。

(3) MD RECキーを押して、MDを録音一時停止状態にする。

(4) CD▶/❚❚キーを押してCDの再生を始める。
シンクロ録音が開始します。

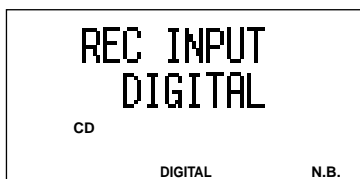
次ページに続く➔

CDのデジタル録音とアナログ録音

CDを録音するときは、デジタル信号のまま録音する「デジタル録音」と、アナログ信号を録音する「アナログ録音」があります。
初期値は、"DIGITAL"に設定されていますが、SCMSなどの規制により、デジタル録音できない場合があります。そのときは、録音操作をする前に、"ANALOG"に切り換えて録音してください。
(「デジタル録音とSCMSについて」86ページ)

(1) CD ▶/❚❚キーを押してから、STOPキー(リモコンは■(停止)キー)を押す。

(2) MODEキーを押す。

(3) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"REC INPUT？"を選び、SET/Demoキーを押す。

"DIGITAL"が点滅

(4) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"DIGITAL"または"ANALOG"を選び、SET/Demoキーを押す。

デジタル録音レベルを調整する

外部入力機器を接続して本機のMDにデジタル録音するとき、録音レベルを調整することができます。
録音一時停止状態のときに、調整してください。

(1) 録音可能なMDを入れる。

(2) AUX/USBキーを押して、DIGITAL AUXを選ぶ。

(3) 接続した外部入力機器で、録音したい音楽ソースを再生する。

(4) MD RECキーを押す。
録音一時停止状態になります。

(5) MODEキーを押す。

(6) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"MD D-REC LEVEL？"を選び、SET/Demoキーを押す。
レベルメーターが表示されます。

(7) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、録音レベルを調整する。

－12～＋12の範囲で調整できます。

この位置を越えないように調整してください

(8) 録音する音楽ソースの準備ができたら、もう一度MD RECキーを押す。
調整した録音レベルで録音が始まります。

POINT

- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- "MD WRITING"が完了する前にACアダプターまたは乾電池を抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- AMラジオをMDに録音するときはAMループアンテナを接続してください。
  AMループアンテナを接続していないときは、AMラジオをMDに録音することができません。
- TUNER(ラジオ)やAUXの音をMDに録音するときは、アナログ録音になります。
  DIGITAL AUXの音を録音するときは、デジタル録音になります。ただし、デジタル録音できない場合もありますので、そのときは外部入力をAUXにしてください。
- CDをMDに録音するときは、MD O.T.E.録音を使うと便利です(30ページ)。

CDの全曲をMDに倍速で録音する

CDの全曲を通常の半分の時間で録音することができます。
全曲倍速録音のときは、デジタル録音になります。
プログラムおよびプレイモードは解除してから操作してください。(38、39ページ)

1 録音の準備をする

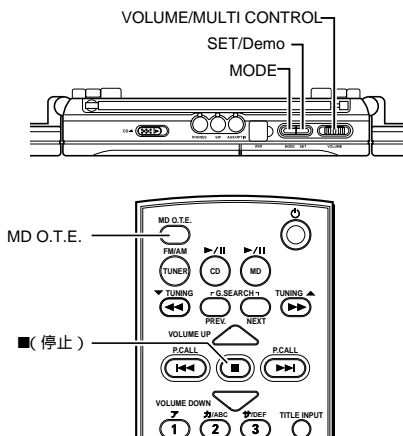
「CDをMDに録音する」の手順1～3(30ページ)をご覧ください。

2 MODEキーを押す

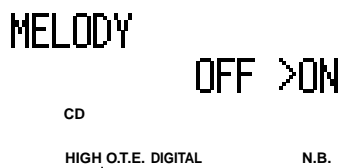
3 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"O.T.E. SPEED ?"を選び、SET/Demoキーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"HIGH SPEED"を選び、SET/Demoキーを押す

通常の速度で録音するときは、"NORMAL SPEED"を選んでください。

O.T.E.SPEED
HIGH SPEED
CD
HIGH O.T.E. DIGITAL N.B.

"HIGH O.T.E."が点滅

5 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、MELODY "ON"または"OFF"を選ぶ

"ON"を選んだとき

"HIGH O.T.E."が点滅

"ON"を選ぶと、録音が終わると録音終了をお知らせするメロディーが鳴ります。ただし、ヘッドホンをつないでいるときや、音量を"0"にしているときは、"ON"を選んでいてもメロディーは鳴りません。

6 リモコンのMD O.T.E.キーを押す

CDが最初から再生され、倍速でMDに録音されます。
録音が終わると、CDとMDが自動的に停止します。
手順5でMELODY "ON"に設定しているときは、録音が終わると録音終了をお知らせるメロディーが鳴り、CDとMDが自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

STOPキー(リモコンは■(停止)キー)を押します。
録音、再生ともに停止します。

次ページに続く→

今聴いているCDの曲を倍速録音する（1曲倍速録音）

(1) 「CDの全曲をMDに倍速で録音する」（45ページ）の手順❶～❺の操作をする。

(2) 録音したい曲を再生し、リモコンのMD O.T.E.キーを押す。
再生中の曲の最初に戻ってから、倍速録音が始まります。

POINT

- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- 録音するCDによっては、いったん倍速録音"HIGH SPEED"で録音を始めてしまうと、録音を始めてから74分以内に同じCDを倍速録音することができないディスクもあります。このようなディスクの場合、再録音できるまでの時間が表示されます。
続けて同じCDを録音したいときは、O.T.E. SPEEDの設定を"NORMAL SPEED"にしてからMD O.T.E.録音をしてください（30ページ）。

PLEASE WAIT
71min.
CD
HIGH DIGITAL N.B.

再録音できるまでの時間

- 倍速録音"HIGH SPEED"では、CDの状態によって、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。この場合は、「ディスクの取り扱いかた」（84ページ）にしたがってCDをクリーニングしたあと、通常速度"NORMAL SPEED"で録音し直してください。

CDの曲順を並べ替えてMDに録音する

通常速度"NORMAL SPEED"のときに、CDの曲順を並べ替えて録音することができます。
倍速録音"HIGH SPEED"のときはできません。

リモコンのみ

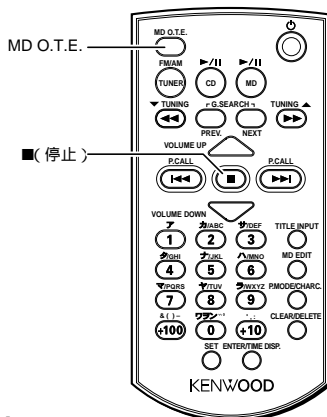
1 録音の準備をする

「CDをMDに録音する」の手順1～3（30ページ）をご覧ください。
MDは必ず停止状態にしてください。

2 CDの曲順をプログラムする

「CDやMDの曲を並べ替えて聴く」の手順1～5（38ページ）をご覧ください。

3 MD O.T.E.キーを押す

CDがプログラムした曲順で再生され、録音が始まります。
録音が終わると、CDとMDは自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

■（停止）キー（本体はSTOPキー）を押します。
録音、再生ともに停止します。

POINT

- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。

応用編 録音

MDのタイトルを編集する前に

タイトルについて
本機では、次のタイトルをつけることができます。
- ディスクタイトル
- 曲タイトル
- グループタイトル

入力できる文字について
本機の文字入力には、カナエリアと漢字エリアがあります。カナエリアでは、カタカナを含めた半角文字が入力でき、漢字エリアでは、ひらがな・漢字を含めた全角文字が入力できます。

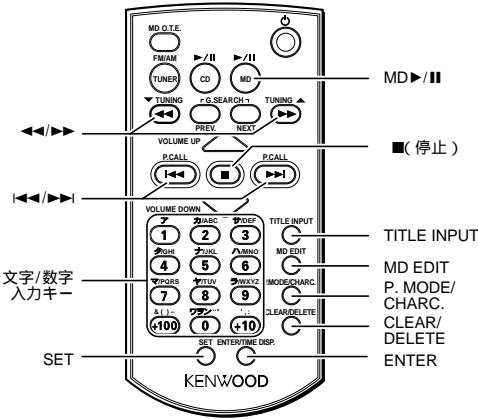
カナエリア(半角文字)で入力できる文字：
- カタカナ
- アルファベット大小文字
- 数字・記号

漢字エリア(全角文字)で入力できる文字：
- ひらがな
- 漢字
- カタカナ
- アルファベット大小文字
- 数字・記号

文字入力についてのご注意
- ディスクタイトルと曲タイトルは、カナエリアと漢字エリアの両方のエリアに文字を入力することができます。
- グループタイトルは、カナエリアのみに文字を入力することができます。
- "カナエリア(半角文字)で入力できる文字"と"漢字エリア(全角文字)で入力できる文字"の両方のエリアの文字を混在させて入力することはできません。

入力できる文字数について
本機では、MD全体で最大1792文字、1タイトルにつき80文字まで入力できます。漢字エリアの文字を使用したときやカナエリアでもカタカナを使用したときは、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
- スペース(1文字分の空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
- タイトルを消去するときは、文字の削除(CLEAR/DELETE)をしてください。スペースの入力はしないでください。

タイトルをつける

タイトルをつけるときは、プログラムおよびプレイモードを解除してから操作してください。（38、39ページ）

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

MD ▶/❚❚を押してから、■（停止）キーを押します。

ディスクタイトルをつけるとき：

通常再生で停止状態のときにつけることができます。
"GROUP"が点灯しているときは、P.MODE/CHARC.キーを2回押して消灯させます。

グループタイトルをつけるとき：

グループ再生で停止状態のときにつけることができます。
P.MODE/CHARC.キーを押して"GROUP"を点灯させ、G.SEARCH PREV.キーまたはG.SEARCH NEXTキーを押してグループタイトルまたは曲タイトルをつけるグループをあらかじめ選んでおきます。

曲タイトルをつけるとき：

通常再生で停止状態のときは、MDの全ての曲にタイトルをつけることができます。
グループ再生で停止状態のときは、グループ内の曲にタイトルをつけることができます。

2 TITLE INPUTキーを押す

"TITLE INPUT"が表示されます。

3 ⏮または⏭キーを押して、入力する文字のエリアを選ぶ

半角文字を入力するときは"カナエリア"を選びます。
漢字・ひらがななどの全角文字を入力するときは"漢字エリア"を選びます。

4 SETキーを押す

5 ⏮ または⏭ キーを押して、"DISC"または"GROUP"またはタイトルをつけたい曲番号（"001"…）を選び、SETキーを押す

通常再生では、"DISC"または曲番号が選べます。
グループ再生では、"GROUP"またはグループ内の曲番号が選べます。
ただし、グループタイトルは、"漢字エリア"に文字を入力することはできません。手順3で"漢字エリア"を選んだときは、"GROUP"は表示されず曲番号だけ選べます。

次ページに続く➔

6 タイトルを入力する

手順3で"カナエリア"を選んだとき
→「カナエリアでの入力のしかた」（50ページ）へ
手順3で"漢字エリア"を選んだとき
→「漢字エリアでの入力のしかた」（51ページ）へ

7 タイトルを入力し終わったら、ENTERキーを押す

入力したタイトルがスクロール表示されます。
続けてタイトルを入力するときは、手順5〜7を繰り返してタイトルをつけます。

8 タイトルをつける操作を終了するときは、TITLE INPUTキーを押す

ディスクタイトルをつけた後にグループタイトルをつけたいとき、またはグループタイトルをつけた後にディスクタイトルをつけたいときは、TITLE INPUTキーを押し、手順9〜10までの操作をして、手順1から操作し直してください。

9 MD EDITキーを押す

"WRITING"が表示されます。

10 SETキーを押す

"WRITING ok"が表示されます。

11 ENTERキーを押す

"MD WRITING"が表示され、タイトルがMDに記録されます。

途中でやめるには

手順6までにTITLE INPUTキーを押します。

MDを取り出す

MD⏏キーを下方向にスライドします。

POINT

- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。

カナエリアでの入力のしかた

(1) P.MODE/CHARC.キーを繰り返し押して、目的の文字グループを選ぶ
"Aa"：半角アルファベットと半角記号
"12"：半角数字と半角記号
"ｱｧ"：半角カタカナと半角記号

(2) 文字入力キーを繰り返し押して、目的の文字を選ぶ
入力できる文字については、「タイトル編集文字一覧表」（52ページ）をご覧ください。
CLEAR/DELETEキーを押すと、カーソルが点滅中の文字を消去することができます。
スペース（空白）を入れるときは、▶▶キーを押して、文字の入る場所を1文字分ずらします。

(3) SETキーを押して、選んだ文字を確定する
「カナエリアでの入力のしかた」の手順**(1)**〜**(3)**を繰り返して、お好みのタイトルを入力します。

カーソルを移動するとき

▶▶キーまたは◀◀キーを押すとカーソルが移動します。

文字を消去するとき

CLEAR/DELETEキーを押すと、カーソルが点滅中の文字を消去することができます。

文字と文字の間にスペース（空白）を入れるとき

1. ▶▶キーまたは◀◀キーを押して、スペースを入れたい場所の後ろの文字にカーソルをあわせます。
2. P.MODE/CHARC.キーを繰り返し押して、"Aa"文字グループを選び、「1　ア」キーを押します。

漢字エリアでの入力のしかた

(1) P.MODE/CHARC.キーを繰り返し押して、目的の文字グループを選ぶ
"あぁ"：全角ひらがなと全角記号
"アァ"：全角カタカナと全角記号
"Aa"：全角アルファベットと全角記号
"12"：全角数字と全角記号
"区点コード"：区点コードを使った文字入力

(2) 文字入力キーを繰り返し押して、目的の文字を選ぶ

ひらがなから漢字を入力する
例：「加」という漢字を入力するとき

1 P.MODE/CHARC.キーを押して、"あぁ"(全角ひらがな)文字グループを選ぶ

2 文字入力キーを繰り返し押して、「か」を選ぶ
入力したい漢字の音読みの最初の文字を選びます。

3 |◀◀ または▶▶| キーを押して、「加」を選ぶ
|◀◀ または▶▶| キーを押すたびに、「か」で始まる漢字が表示されます。

区点コードから漢字を入力する

1 P.MODE/CHARC.キーを押して"区点コード[*****]"文字グループを選ぶ

2 入力したい漢字の区点コード5桁を数字入力キーで入力する

区点コード表(93〜101ページ)を参照してください。
漢字以外の文字も区点コードを使って入力することができます。

(3) SETキーを押して、選んだ文字を確定する
入力できる文字については、「タイトル編集文字一覧表」(52ページ)をご覧ください。
CLEAR/DELETEキーを押すと、カーソルが点滅中の文字を消去することができます。
スペース(空白)を入れるときは、▶▶キーを押して、文字の入る場所を1文字分ずらします。
「漢字エリアでの入力のしかた」の手順(1)〜(3)を繰り返して、お好みのタイトルを入力します。

カーソルを移動するとき

▶▶キーまたは◀◀キーを押すとカーソルが移動します。

文字を消去するとき

CLEAR/DELETEキーを押すと、カーソルが点滅中の文字を消去することができます。

文字と文字の間にスペース(空白)を入れるとき

1 ▶▶キーまたは◀◀キーを押して、スペースを入れたい場所の後ろの文字にカーソルをあわせます。

2 P.MODE/CHARC.キーを繰り返し押して、"Aa"文字グループを選び、「1　ア」キーを押します。

次ページに続く➔

タイトルを変更する

(1) 「タイトルをつける」の手順 1〜5（49ページ）の操作をして、変更するタイトルを選ぶ
手順 3では、変更するタイトルと同じ文字のエリアを選んでください。

(2) ►►キーまたは◄◄キーを押して変更する文字にカーソルを合わせる
変更したい文字が表示されないときは、►►キーまたは◄◄キーを押すと、カーソルが移動して隠れていた文字が表示されます。

(3) CLEAR/DELETEキーを押して変更する文字を消す

(4) 「タイトルをつける」の手順 6〜11（50ページ）の操作をする

タイトルを消去する

(1) 「タイトルをつける」の手順 1〜5（49ページ）の操作をして、消去するタイトルを選ぶ
手順 3では、変更するタイトルと同じ文字種のエリアを選んでください。

(2) CLEAR/DELETEキーを押してタイトルの文字を全て消す

(3) 「タイトルをつける」の手順 7〜11（50ページ）の操作をする

タイトル編集文字一覧表

リモコンの文字入力キーでは、次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、各種記号などを選ぶことができます。

グループ / キー	“Aa”	“12”	“アァ”	“あぁ”
1ア	（スペース）	1	アイウエオァィゥェォ	あいうえおぁぃぅぇぉ
2カABC	ABCabc	2	カキクケコ	かきくけこ
3サDEF	DEFdef	3	サシスセソ	さしすせそ
4タGHI	GHIghi	4	タチツテトッ	たちつてとっ
5ナJKL	JKLjkl	5	ナニヌネノ	なにぬねの
6ハMNO	MNOmno	6	ハヒフヘホ	はひふへほ
7マPQRS	PQRSpqrs	7	マミムメモ	まみむめも
8ヤTUV	TUVtuv	8	ヤユヨャュョ	やゆよゃゅょ
9ラWXYZ	WXYZwxyz	9	ラリルレロ	らりるれろ
0ワヲン゛゜		0	゛゜ワヲン	゛゜わをん
+10記号	' , : ? ! ; . " _ ` $ ^			
+100&（）_	& ( ) - / + * = < > # % @			

POINT

● 「゛ 」「゜ 」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。

曲を1曲ずつ移動する

移動したい曲を選んで、目的の曲番号の位置へ移動(挿入)します。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ換えることができます。前後の曲の曲番号は、自動的に調節されます。
グループ分けされている曲も移動できます。その場合、移動した先の前の曲と同じグループに登録されます。移動した先の前の曲がグループに登録されていないときは、移動した曲もグループには属しません。
"GROUP"、"PGM"表示は消灯させてから行ってください。(37、38ページ)

曲を1曲移動するイメージ

グループ分けされてない曲を移動するとき

グループ分けされている曲を移動するとき

グループ3に登録されている10曲目のJ曲を５曲目と６曲目の間に移動すると、J曲はグループ1に登録されます。

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

MD ►/IIキーを押してから、■(停止)キーを押します。

2 MD EDITキーをす

3 |◄◄ または►►| キーを押して、"TRACK"を選び、SETキーを押す

4 "MOVE"が点滅したらSETキーを押す

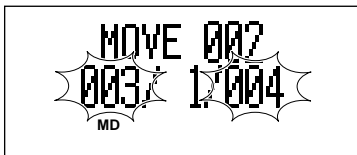
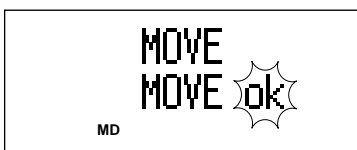
5 |◄◄または►►|キーを繰り返し押して、移動したい曲番号を選ぶ

2曲目を移動するとき

次ページに続く➔

6 SETキーを押す

7 ⏮キーまたは⏭キーを押して、選んだ曲の移動先を選ぶ

3曲目の後に移動するとき

8 SETキーを押す

9 ENTERキーを押す

"EDIT NOW"→"COMPLETE"が表示されます。

10 MD EDITキーを押す

"WRITING"が表示されます。

11 SETキーを押す

"WRITING ok"が表示されます。

12 ENTERキーを押す

"MD WRITING"が表示されます。

途中でやめるには

手順8までにMD EDITキーを押します。

MDを取り出す

MD▲キーを下方向にスライドします。
手順9の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"LOCKED"→"MD WRITING"が表示された後、もう一度MD▲キーを下方向にスライドします。

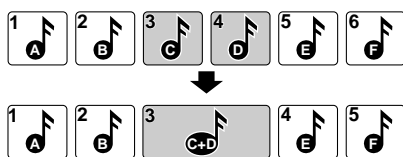
POINT

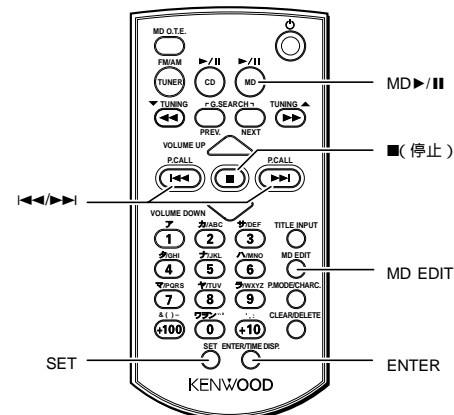
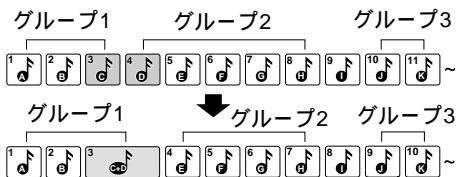
- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- "PGM"または"GROUP"の表示が点灯しているときは編集操作はできません。P.MODE/CHARC.キーを押して、消灯させてください。
- グループ録音したMDを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。
- グループ機能に対応した他の機器で録音したMDを、本機で使用すると正しく動作しないことがあります。

曲をつなぐ

隣り合った曲と曲をつなぐことができます。
曲番号は自動的に調節されます。
隣り合った曲であれば、違うグループに登録されていても曲をつなぐことができます。その場合、つないだとき後ろになる曲は前のグループに登録されます。
"GROUP"、"PGM"表示は消灯させてから行ってください。（37、38ページ）

曲をつなぐイメージ

グループ分けされてない曲をつなぐとき

グループ分けされている曲をつなぐとき

グループ1に登録されている3曲目のC曲とグループ2に登録されている4曲目のD曲をつないだときは、D曲はグループ1に登録されます。

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

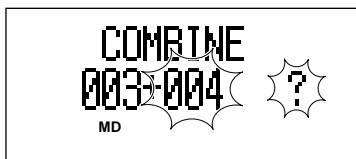
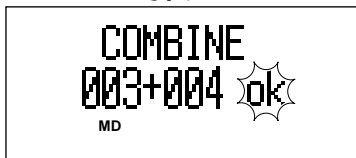
MD ►/IIキーを押してから、■（停止）キーを押します。

2 MD EDITキーを押す

3 |◄◄ または►►| キーを押して、"TRACK"を選び、SETキーを押す

4 |◄◄または►►|キーを繰り返し押して、"COMBINE"を選び、SETキーを押す

5 |◄◄キーまたは►►|キーを繰り返し押して、つないだときに後ろになる曲を選ぶ

４曲目を選んだとき

6 SETキーを押す

COMBINE
003+004 ok
MD

7 ENTERキーを押す

"EDIT NOW"→"COMPLETE"が表示されます。

パソコンからチェックアウトした曲をつなぐときは"PROTECTED ok"と表示されますので、良ければもう一度ENTERキーを押します。

次ページに続く➔

8 MD EDITキーを押す

"WRITING"が表示されます。

9 SETキーを押す

"WRITING ok"が表示されます。

10 ENTERキーを押す

"MD WRITING"が表示されます。

途中でやめるには

手順6までにMD EDITキーを押します。

MDを取り出す

MD⏏キーを下方向にスライドします。
手順7の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"LOCKED"→"MD WRITING"が表示された後、もう一度MD⏏キーを下方向にスライドします。

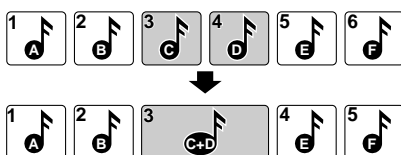
POINT

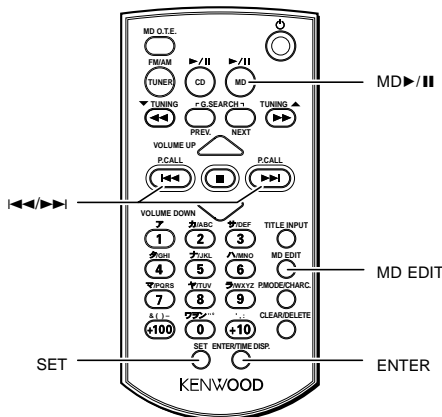
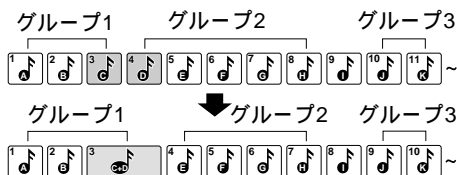
- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- 録音モードが異なる曲、短い曲をつなげることはできません。
- つないだときに前になる曲がグループに登録されていて、後ろになる曲がグループに登録されてないときは、つないでできた曲もそのグループに登録されます。
- つないだときに前になる曲がグループに登録されていないときは、つないでできた曲もグループに登録されていない曲になります。
- "PGM"または"GROUP"の表示が点灯しているときは編集操作はできません。P.MODE/CHARC.キーを押して、消灯させてください。
- グループ録音したMDを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。
- グループ機能に対応した他の機器で録音したMDを、本機で使用すると正しく動作しないことがあります。

再生中の曲をつなぐ

再生中の曲とその前の曲をつなぐことができます。曲番号は自動的に調節されます。
隣り合った曲であれば、違うグループに登録されていても再生中に曲をつなぐことができます。その場合、つないだとき後ろになる曲は前のグループに登録されます。
"GROUP"、"PGM"表示は消灯させてから行ってください。（37、38ページ）

曲をつなぐイメージ

グループ分けされてない曲をつなぐとき

グループ分けされている曲をつなぐとき

グループ2に登録されている4曲目のD曲を再生中に、グループ1に登録されている3曲目のC曲とつなぐときは、D曲はグループ1に登録されます。

リモコンのみ

1 録音済みのMDを入れる

2 MD ►/II キーを押してから|◄◄キーまたは►►|キーを繰り返し押して、つないだときに後ろになる曲を選ぶ

数字キーでも選べます。
曲が再生されます。
１曲目は選ばないでください。

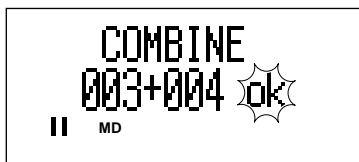
3 MD EDITキーを押す

再生が一時停止します。

4 |◄◄ または►►| キーを押して、"TRACK"を選び、SETキーを押す

5 |◄◄キーまたは►►|キーを繰り返し押して、"COMBINE"を選ぶ

6 SETキーを押す

４曲目を選んだとき

COMBINE
003+004 ok
II MD

7 ENTERキーを押す

"EDIT NOW"→"COMPLETE"が表示されます。
パソコンからチェックアウトした曲をつなぐときは"PROTECTED ok"と表示されますので、良ければもう一度ENTERキーを押します。

8 MD EDITキーを押す

"WRITING"が表示されます。

9 SETキーを押す

"WRITING ok"が表示されます。

10 ENTERキーを押す

"MD WRITING"表示が表示されます。

途中でやめるには

手順6までにMD EDITキーを押します。

MDを取り出す

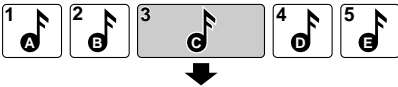
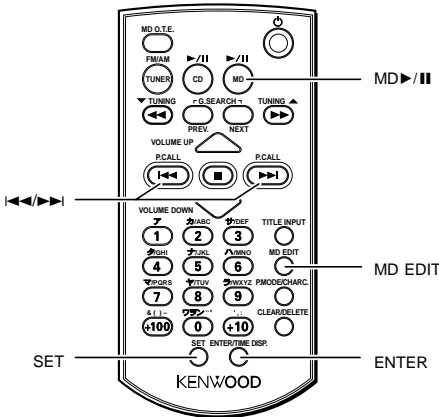
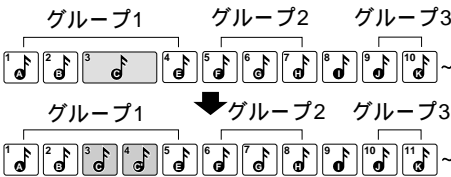
MD▲キーを下方向にスライドします。
手順7の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"LOCKED"→"MD WRITING"が表示された後、もう一度MD▲キーを下方向にスライドします。

POINT

- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- 録音モードが異なる曲、短い曲をつなげることはできません。
- つないだときに前になる曲がグループに登録されていて、後ろになる曲がグループに登録されてないときは、つないでできた曲もそのグループに登録されます。
- つないだときに前になる曲がグループに登録されていないときは、つないでできた曲もグループに登録されていない曲になります。
- "PGM"または"GROUP"の表示が点灯しているときは編集操作はできません。P.MODE/CHARC.キーを押して、消灯させてください。
- グループ録音したMDを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。
- グループ機能に対応した他の機器で録音したMDを、本機で使用すると正しく動作しないことがあります。

曲を分ける

曲を分割することができます。曲番号は自動的に調節されます。
"GROUP"、"PGM"表示は消灯させてから行ってください。（37、38ページ）

曲を分けるイメージ
グループ分けされてない曲を分割する

グループ分けされている曲を分割する

リモコンのみ

1 録音済みのMDを入れる

2 MD ►/II キーを押してから I◄◄ キーまたは ►►I キーを繰り返し押して、分割したい曲を選ぶ

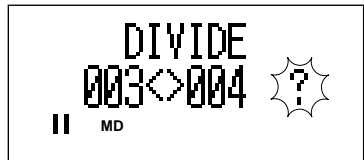
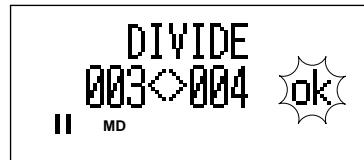
数字キーでも選べます。
曲が再生されます。

3 分割したいポイントでMD EDITキーを押す

再生が一時停止します。

4 I◄◄ または ►►I キーを押して、"TRACK"を選び、SETキーを押す

5 "DIVIDE"が点滅したらSETキーを押す

3曲目を選んだとき

6 SETキーを押す

7 ENTERキーを押す

"EDIT NOW"→"COMPLETE"が表示されます。
パソコンからチェックアウトした曲を分割するときは"PROTECTED ok"と表示されますので、良ければもう一度ENTERキーを押します。

8 MD EDITキーを押す

"WRITING"が表示されます。

9 SETキーを押す

"WRITING ok"が表示されます。

10 ENTERキーを押す

"MD WRITING"が表示されます。

途中でやめるには

手順6までにMD EDITキーを押します。

MDを取り出す

MD⏏キーを下方向にスライドします。
手順7の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"LOCKED"→"MD WRITING"が表示された後、もう一度MD⏏キーを下方向にスライドします。

POINT

- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- 分割によってできた曲間には、無音部分がありません。
- "PGM"または"GROUP"の表示が点灯しているときは編集操作はできません。P.MODE/CHARC.キーを押して、消灯させてください。
- グループ録音したMDを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。
- グループ機能に対応した他の機器で録音したMDを、本機で使用すると正しく動作しないことがあります。

1曲を消す

1曲のみを消します。曲番号は自動的に調節されます。
"GROUP"、"PGM"表示は消灯させてから行ってください。(37、38ページ)

1曲を消すイメージ

グループ分けされてない曲を消す

グループ分けされている曲を消す

リモコンのみ

1 入力切替をMDにして、録音済みのMDを入れる

MD ▶/❚❚キーを押してから、■(停止)キーを押します。

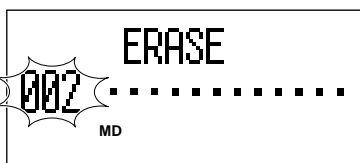
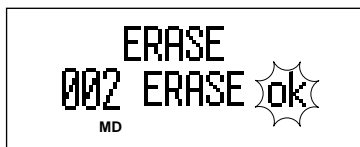
次ページに続く➜

2 MD EDITキーを押す

3 |◀◀ または▶▶| キーを押して、"TRACK"を選び、SETキーを押す

4 |◀◀または▶▶|キーを繰り返し押して、"ERASE"を選び、SETキーを押す

5 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、消したい曲を選ぶ

2曲目を選んだとき

6 SETキーを押す

ERASE
002 ERASE ok
MD

7 ENTERキーを押す

"EDIT NOW"→"COMPLETE"が表示されます。

パソコンからチェックアウトした曲を消すときは"PROTECTED ok"と表示されますので、良ければもう一度ENTERキーを押します。

8 MD EDITキーを押す

"WRITING"が表示されます。

9 SETキーを押す

"WRITING ok"が表示されます。

10 ENTERキーを押す

"MD WRITING"が表示されます。

途中でやめるには

手順6までにMD EDITキーを押します。

MDを取り出す

MD▲キーを下方向にスライドします。

手順7の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"LOCKED"→"MD WRITING"が表示された後、もう一度MD▲キーを下方向にスライドします。

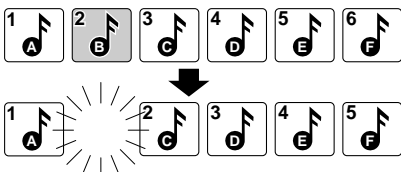
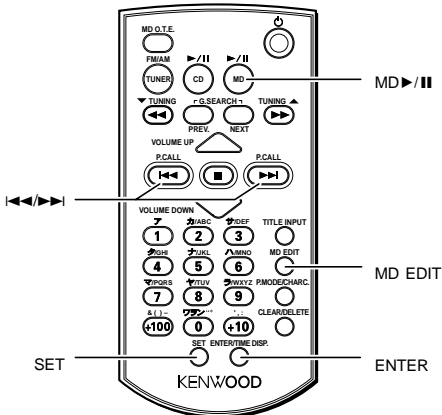
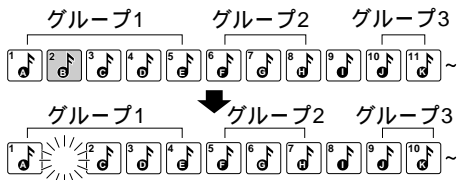
POINT

- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- "PGM"または"GROUP"の表示が点灯しているときは編集操作はできません。P.MODE/CHARC.キーを押して、消灯させてください。
- グループ録音したMDを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。
- グループ機能に対応した他の機器で録音したMDを、本機で使用すると正しく動作しないことがあります。

再生中の曲を消す

再生中の曲を消すことができます。曲番号は自動的に調節されます。
"GROUP"、"PGM"表示は消灯させてから行ってください。(37、38ページ)

1曲を消すイメージ

グループ分けされてない曲を消す

グループ分けされている曲を消す

リモコンのみ

1 録音済みのMDを入れる

2 MD ►/II キーを押してから|◄◄キーまたは►►|キーを繰り返し押して、消したい曲を選ぶ

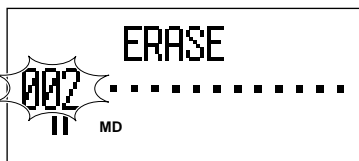
数字キーでも選べます
曲が再生されます。

3 MD EDITキーを押す

再生が一時停止します。

4 |◄◄ または►►| キーを押して、"TRACK"を選び、SETキーを押す

5 |◄◄キーまたは►►|キーを繰り返し押して、"ERASE"を選んでから、SETキーを押す

2曲目を選んだとき

6 SETキーを押す

7 ENTERキーを押す

"EDIT NOW"→"COMPLETE"が表示されます。
パソコンからチェックアウトした曲を消すときは"PROTECTED ok"と表示されますので、良ければもう一度ENTERキーを押します。

8 MD EDITキーを押す

"WRITING"が表示されます。

9 SETキーを押す

"WRITING ok"が表示されます。

次ページに続く➔

10 ENTERキーを押す

"MD WRITING"が表示されます。

途中でやめるには

手順6までにMD EDITキーを押します。

MDを取り出す

MD▲キーを下方向にスライドします。
手順7の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"LOCKED"→"MD WRITING"が表示された後、もう一度MD▲キーを下方向にスライドします。

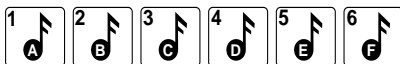
POINT

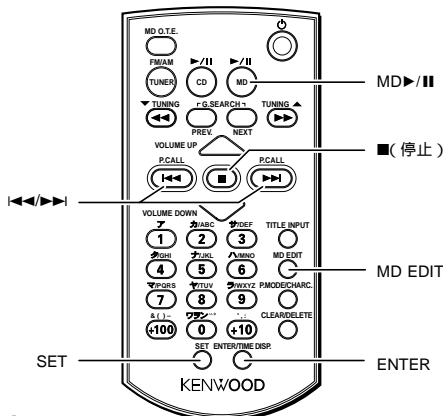
- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- "PGM"または"GROUP"の表示が点灯しているときは編集操作はできません。P.MODE/CHARC.キーを押して、消灯させてください。
- グループ録音したMDを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。
- グループ機能に対応した他の機器で録音したMDを、本機で使用すると正しく動作しないことがあります。

全曲を消す

全曲を消してブランクディスクにします。
"GROUP"、"PGM"表示は消灯させてから行ってください。（37、38ページ）

全曲を消すイメージ

グループ分けされてない曲を消す

グループ分けされている曲を消す

グループの情報も曲も全て消えてブランクディスクになります。

リモコンのみ

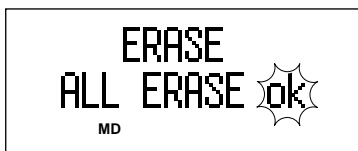
1 入力切替をMDにして、録音済みのMDを入れる

MD ▶/IIキーを押してから、■（停止）キーを押します。

2 **MD EDITキーを押す**

3 **⏮ または⏭ キーを押して、"TRACK"を選び、SETキーを押す**

4 **⏮または⏭キーを繰り返し押して、"ERASE"を選び、SETキーを押す**

5 **"ALL ERASE?"と表示されたら、SETキーを押す**

6 **ENTERキーを押す**

"EDIT NOW"→"COMPLETE"が表示されます。

7 **MD EDITキーを押す**

"WRITING"が表示されます。

8 **SETキーを押す**

"WRITING ok"が表示されます。

9 **ENTERキーを押す**

"MD WRITING"が表示されます。

途中でやめるには

手順**5**までにMD EDITキーを押します。

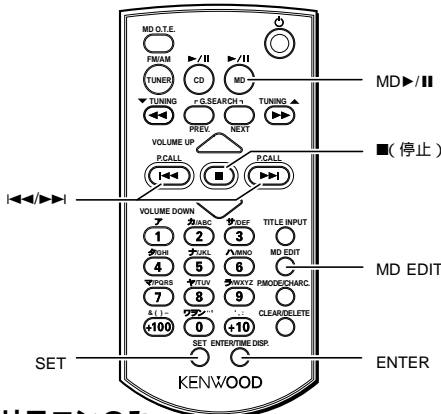
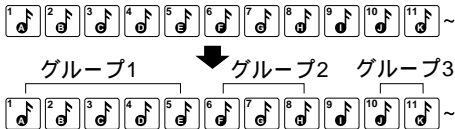
MDを取り出す

MD⏏キーを下方向にスライドします。
手順**6**の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"LOCKED"→"MD WRITING"が表示された後、もう一度MD⏏キーを下方向にスライドします。

POINT

- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- "PGM"または"GROUP"の表示が点灯しているときは編集操作はできません。P.MODE/CHARC.キーを押して、消灯させてください。
- グループ録音したMDを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。
- グループ機能に対応した他の機器で録音したMDを、本機で使用すると正しく動作しないことがあります。

グループを作る
（GROUP START）

連続した曲でグループを作り、登録します。最大99グループまで作ることができます。
また、1曲でもグループにすることができます。

リモコンのみ

1 **入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる**

MD ▶/❚❚キーを押してから、■（停止）キーを押します。

2 **MD EDITキーを押す**

3 **|◀◀ または▶▶| キーを押して、"GROUP"を選び、SETキーを押す**

4 **"GROUP START"が点滅したら、SETキーを押す**

5 **|◀◀または▶▶|キーを押して、グループに登録する最初の曲番号を選び、SETキーを押す**

すでにグループに登録されている曲番号は選べません。

6 **|◀◀または▶▶|キーを押して、グループに登録する最後の曲番号を選び、SETキーを押す**

すでにグループに登録されている曲番号は選べません。

7 **ENTERキーを押す**

"EDIT NOW"→"COMPLETE"が表示されます。

8 **MD EDITキーを押す**

"WRITING"が表示されます。

9 **SETキーを押す**

"WRITING ok"が表示されます。

10 **ENTERキーを押す**

"MD WRITING"が表示されます。

途中でやめるには

手順 **6** までにMD EDITキーを押します。

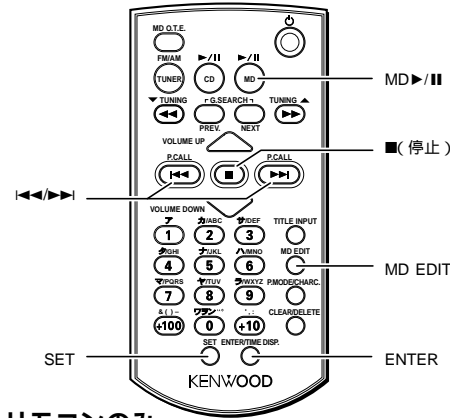
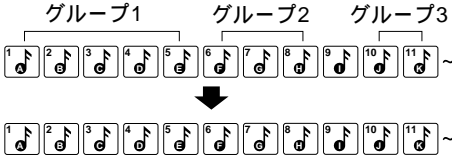
MDを取り出す

MD⏏キーを下方向にスライドします。
手順**7**の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"LOCKED"→"MD WRITING"が表示された後、もう一度MD⏏キーを下方向にスライドします。

POINT

- "MD WRITING"が表示中は、電源を切ったり振動を加えないでください。
- 全ての曲がすでにグループに登録されているとき、またはグループ数が99を越えると"GROUP START ×"と表示されて、新しいグループは作れません。また、99を越えていなくても、そのMDに入力した文字情報が多いときは、新しいグループを作れないことがあります。

グループ情報を消す
（GROUP CANCEL）

グループ登録した情報を消すことができます。選んだグループまたはMD全てのグループの情報、グループタイトルを消します。

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

MD ►/❚❚キーを押してから、■（停止）キーを押します。

2 MD EDITキーを押す

3 |◄◄ または►►| キーを押して、"GROUP"を選び、SETキーを押す

4 |◄◄ または►►| キーを押して"GROUP CANCEL"を選び、SETキーを押す

5 |◄◄または►►|キーを押して消したいグループを選び、SETキーを押す

"ALL GROUP"： MD全てのグループ情報を消します。

"曲番号_曲番号"…：選んだグループの情報を消します。

6 ENTERキーを押す

"EDIT NOW"→"COMPLETE"が表示されます。

7 MD EDITキーを押す

"WRITING"が表示されます。

8 SETキーを押す

"WRITING ok"が表示されます。

9 ENTERキーを押す

"MD WRITING"が表示されます。

途中でやめるには

手順 5までにMD EDITキーを押します。

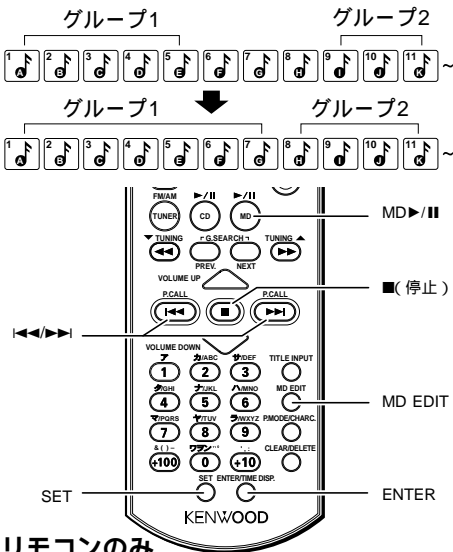
MDを取り出す

MD▲キーを下方向にスライドします。
手順6の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"LOCKED"→"MD WRITING"が表示された後、もう一度MD▲キーを下方向にスライドします。

POINT

- "MD WRITING"が表示中は、電源を切ったり振動を加えないでください。
- グループ分けされていないMDのときは、"GROUP CANCEL ×"と表示されてグループキャンセルはできません。

グループの範囲を変える（GROUP EDIT）

すでに登録したグループの範囲を変えることができます。

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

MD ▶/❚❚キーを押してから、■（停止）キーを押します。

2 MD EDITキーを押す

3 ⏮ または⏭ キーを押して"GROUP"を選び、SETキーを押す

4 ⏮ または⏭ キーを押して、"GROUP EDIT"を選び、SETキーを押す

5 ⏮または⏭キーを押して範囲を変更するグループを選び、SETキーを押す

6 ⏮ または⏭ キーを押してグループの最初の曲番号を選び、SETキーを押す

曲番号を変更しないときは、そのままSETキーを押します。
他のグループに登録されている曲は選べません。

7 ⏮ または⏭ キーを押してグループの最後の曲番号を選び、SETキーを押す

曲番号を変更しないときは、そのままSETキーを押します。
他のグループに登録されている曲は選べません。

8 ENTERキーを押す

"EDIT NOW"→"COMPLETE"が表示されます。

9 MD EDITキーを押す

"WRITING"が表示されます。

10 SETキーを押す

"WRITING ok"が表示されます。

11 ENTERキーを押す

"MD WRITING"が表示されます。

途中でやめるには

手順 7までにMD EDITキーを押します。

MDを取り出す

MD⏏キーを下方向にスライドします。

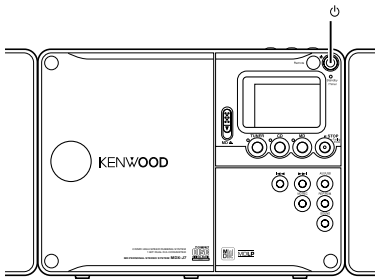
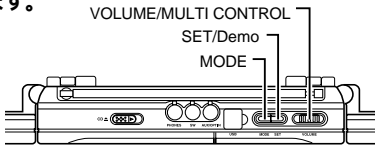
POINT

- "MD WRITING"が表示中は、電源を切ったり振動を加えないでください。
- グループ分けされていないＭＤのときは、"GROUP EDIT ×"と表示されてグループエディットはできません。

プログラムタイマーを使う
（PROG .1、PROG .2）

タイマーを働かせたい時間帯と内容を予約しておき、必要に応じてオンまたはオフに切り換えることができます。設定したあと１回だけ働く"ONE TIME"と、毎日働く"EVERYDAY"があります。
タイマー機能を使う前に、必ず時刻合わせを行ってください。（１８ページ）

プログラムタイマーで再生する

設定した時刻に選んだ音楽ソースを聴くことができます。

1 **聴きたい音楽ソースに合わせて、必要な準備をする**

CD： CDを入れる。
MD：MDを入れる。
ラジオ：プリセットしておく。
外部入力： AUX端子に接続した機器のタイマーを設定する。

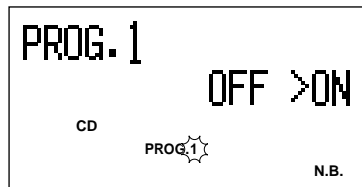
2 **MODEキーを押す**

3 **VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"TIMER SET ?"を選び、SET/Demoキーを押す**

4 **VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"PROG. 1 SET?"または"PROG. 2 SET?"を選ぶ**

"PROG. 1 SET?"を選んだとき

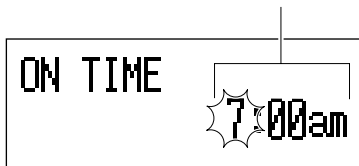
5 **SET/Demoキーを押す**

6 **VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"ＯＮ"を選び、SET/Demoキーを押す**

7 **VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"ONE TIME"または"EVERYDAY"を選び、SET/Demoキーを押す**

次ページに続く➔

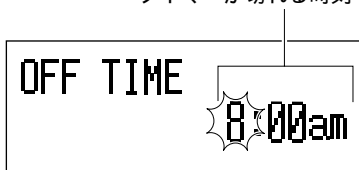
8 タイマーが入る時刻（オン時刻）を選ぶ

VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して「時」を選び、SET/Demoキーを押します。

タイマーが入る時刻

同様の操作で「分」を選びます。

9 タイマーが切れる時刻（オフ時刻）を選ぶ

オン時刻と同様に設定します。

タイマーが切れる時刻

10 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"PLAY"または"AI PLAY"を選び、SET/Demoキーを押す

"PLAY"：手順11で設定された音量で再生されます。

"AI PLAY"：タイマー再生が始まると、除々に音量が大きくなり、手順11で設定された音量まで上がります。

"PLAY"を選んだとき

11 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して音量を設定し、SET/Demoキーを押す

12 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、音楽ソースを選び、SET/Demoキーを押す

"CD"、"MD"、"AUX"（外部入力）、"DIGITAL AUX"（外部入力）、"TUNER"（ラジオ）の中から選ぶことができます。

"TUNER"（ラジオ）以外を選んだときは、"COMPLETE"と表示されて設定が終了しますので、手順14に進んでください。

13 ラジオを聴くときは、VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して聴きたいプリセットナンバーを選び、SET/Demoキーを押す

"TUNER"（ラジオ）以外を選んだときは、この操作は必要ありません。

14 ⏻（電源）キーを押して電源を切り、スタンバイ状態にする

タイマーの設定をして、スタンバイ状態になると、Standby/Timerインジケーターが緑色に点灯します。

設定された時刻になるとプログラムタイマーが実行され、再生を始めます。

プログラムタイマーを解除するには

(1) 「プログラムタイマーで再生する」の手順**2**〜**5**(67ページ)を行う。

(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"OFF"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

同じ内容でプログラムタイマーを再実行するには

(1) 「プログラムタイマーで再生する」の手順**2**〜**5**(67ページ)を行う。

(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"ON"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

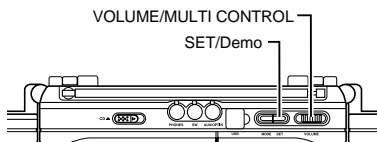
設定内容を確認したり変更するには

手順**2**からやり直します。

POINT

- タイマー機能を使う前に、時計合わせを行ってください(18ページ)。
- タイマー再生では、CDやMDのプログラム再生をすることはできません。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて設定してください。
- プログラムタイマー(PROG.1、PROG.2)が動作中は、おやすみタイマー(SLEEP)は設定できません。
- タイマーを解除しても、設定内容は記憶しています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーの内容はそのまま残っています。
- Standby/Timerインジケーターが緑色に点滅しているときは、時計を合わせないでタイマー設定しようとした、または停電などによりタイマーが正しく実行されなかった、などが考えられます。
  時計合わせをしてからタイマー設定をするか、もう１度タイマーの設定をやり直してください。

プログラムタイマーで録音する

設定した時刻にTUNER(ラジオ)またはAUX(外部入力)の音をMDに録音することができます。

1 録音の準備をする

録音可能なMDを入れます。

2 「プログラムタイマーで再生する」の手順2〜9(67ページ〜68ページ)を行う

3 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"REC"を選び、SET/Demoキーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して音量を設定し、SET/Demoキーを押す

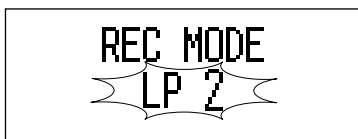
5 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"TUNER"または"AUX"または"DIGITAL AUX"を選び、SET/Demoキーを押す

"TUNER"：ラジオ
"AUX"：外部入力
"DIGITAL AUX"：外部入力
"AUX"または"DIGITAL AUX"を選んだときは、手順**7**に進んでください。

次ページに続く➔

6 ラジオを録音するときは、VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、録音したいプリセットナンバーを選び、SET/Demoキーを押す

7 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、録音モードを選び、SET/Demoキーを押す

"LP 2"を選んだとき

SET/Demoキーを押すと、"COMPLETE"と表示されて、設定が終了します。

8 ⏻（電源）キーを押して電源を切り、スタンバイ状態にする

タイマーの設定をして、スタンバイ状態になると、Standby/Timerインジケーターが緑色に点灯します。
設定された時刻になるとプログラムタイマーが実行され、録音を始めます。

プログラムタイマーを解除するには

(1) 「プログラムタイマーで再生する」の手順❷～❺(67ページ)を行う。

(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"OFF"を選んでから、SET/DEMOキーを押す。

同じ内容でプログラムタイマーを再実行するには

(1) 「プログラムタイマーで再生する」の手順❷～❺(67ページ)を行う。

(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"ON"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

設定内容を確認したり変更するには

手順❷からやり直します。

POINT

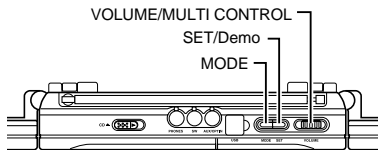
- タイマー機能を使う前に、時計合わせを行ってください(18ページ)。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて設定してください。
- AMラジオをMDに録音しようとしたときに"MD REC X"が表示された場合には、AMループアンテナを接続してください。
  AMループアンテナを接続していないと、AMラジオを録音することができません。
- タイマーを解除しても、設定内容は記憶されています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーの内容はそのまま残っています。
- Standby/Timerインジケーターが緑色に点滅しているときは、時計を合わせないでタイマー設定しようとした、または停電などによりタイマーが正しく実行されなかった、などが考えられます。
  時計合わせをしてからタイマー設定をするか、もう１度タイマーの設定をやり直してください。

おやすみタイマーを使う（SLEEP）

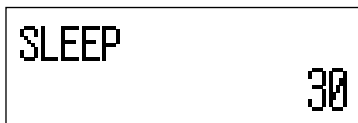
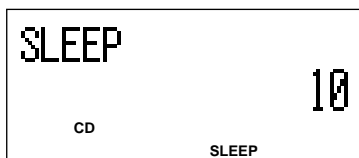
設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。10分単位で最長90分まで設定できます。

1 MODEキーを押す

2 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"TIMER SET ?"を選び、SET/Demoキーを押す

3 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"SLEEP SET ?"を選び、SET/Demoキーを押す

"SLEEP"が点滅

4 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、何分後に電源を切るかを選び、SET/Demoキーを押す

30分後を選んだとき

設定した時間が過ぎると、自動的に本機の電源が切れます。

電源が切れるまでの時間を確認する

(1) おやすみタイマーを設定したあとに、手順1～3の操作をする。

(2) 確認をしたらMODEキーを押す。

おやすみタイマーを解除する

(1) 「おやすみタイマーを使う」の手順1～3を行う。

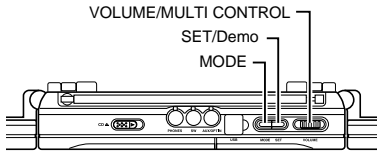
(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"OFF"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

POINT

- プログラムタイマー（PROG.1、PROG.2）が動作中は、おやすみタイマー（SLEEP）は設定できません。
- おやすみタイマーが設定されると、バックライトの設定が"HIGH"になっていても、"LOW"の明るさになります。

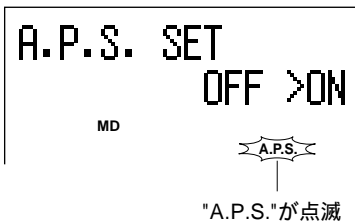
自動的に電源を切る

(A.P.S. = AUTO POWER SAVE)

ＣＤやＭＤが停止状態のときや、入力切換がTUNERまたは外部入力に設定されていて音量が"0"のときに、30分以上放置すると自動的に電源が切れるように設定することができます。電源の切り忘れを防止するために便利です。

1 MODEキーを押す

2 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"A.P.S. SET ?"を選び、SET/Demoキーを押す

3 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"ON"を選ぶ

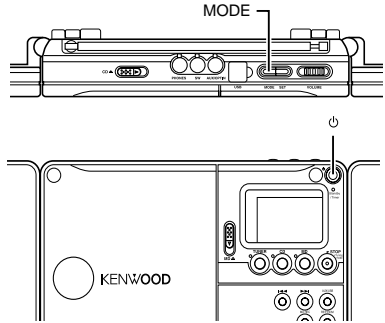
"A.P.S."が点滅

4 SET/Demoキーを押す

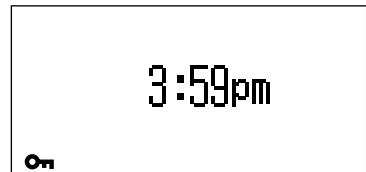
A.P.S.を解除する

(1) 「自動的に電源を切る」の手順**1**と**2**を行う。

(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"OFF"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

キーをロックする

乾電池を入れて本機を移動するときに、誤ってキーが押されて乾電池が消耗しないように操作防止のロックをすることができます。
乾電池で使用しているときに操作します。

1 ⏻（電源）キーを押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

2 鍵マークが表示されるまで2秒以上MODEキーを押す

鍵マークが点灯

鍵マークが表示されているときは、本体のどのキーを押しても操作できません。

キーロックを解除するには

鍵マークが消えるまで2秒以上MODEキーを押します。または、ACアダプターを差し込みます。

POINT

- キーロック中は、タイマーが設定されていても、働きません。

USB端子からの音を聴く前の準備

USB端子を使って初めて本機とパソコンを接続したときだけドライバのインストールが必要です。ドライバのインストールはパソコンを操作して行います。

接続するパソコンの条件

USB端子を持ち、Pentium® MMX 200 MHz以上。Windows®98 SE、Windows®Me、Windows®2000 Professional、Windows® XP Home Edition、Windows®XP Professionalの、いずれも日本語版がインストールされていて正常に動作するパソコンを推奨。USB規格Ver.1.1に準拠。

本機の動作環境

サンプリング周波数は、48kHz、44.1kHz、32kHzに対応しています。
また、16bitステレオ及びモノラルデータが受信可能です。

ドライバをインストールする前に

Windows®日本語版が、正しく起動できることを確認してください。
本機に対応するソフトウェアドライバはWindows®に標準添付されていますので、Windows®のCD - ROMが必要になる場合があります。あらかじめWindows®のCD - ROMを用意しておいてください。
また、CD - ROM ドライブも使用できることを確認してください。（Windows®プリインストールモデルでは、ハードディスクの中に用意されていることもあります）
インストールする前に、パソコンのBIOS設定の次の項目を確認してください。

- USB 機能が「使用する」に設定されている。
- USB IRQ が「AUTO 」または使用可能なIRQ 番号に設定されている。
  上記の設定が正しく行われていないと、本機が正しく認識されず、動作しないことがあります。

POINT

- パソコン本体、マザーボードによっては上記の設定項目がないものもあります。設定項目の有無や設定方法については、パソコン本体またはマザーボードの取扱説明書をご覧ください。

ドライバのインストール

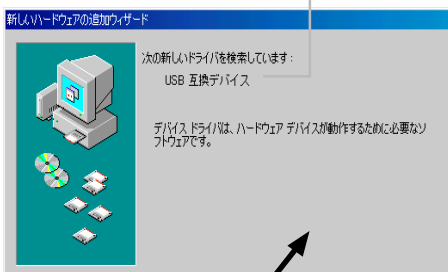
1 パソコンの電源を入れWindowsを起動する

2 本機の電源を入れ、USBケーブルを使ってパソコンと接続する（17ページ参照）

自動的に本機が検出されます。
パソコンが本機を検出中は、USBケーブルを抜き差ししないでください。
数秒間待っても本機が検出されないときは、USBケーブルをもう一度接続し直します。それでも検出されないときは、Windowsを再起動します。
Windows®98SEをお使いの方は手順3に進んでください。それ以外のOSをお使いの方は、自動的にインストールされて終了します。

3 画面の指示にしたがってインストールする

USB互換デバイス、またはUSBオーディオデバイスと表示されます。

例：Windows®98 SEの表示

［次へ］をクリックしていきます。
［次へ］がクリックできないときやパソコンの画面に指示が出ているときは、その指示にしたがった操作をしてください。

必要条件を満たすパソコンでも、パソコン固有の仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機が正常に動作しなかったり、正しい音質で再生されない場合があります。

正しくインストールできているか確認する

「USB オーディオデバイス」、「USB 互換デバイス」がインストールされていることを確認します。
ここでは、Windows®98 SEで説明しています。

1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [システム] → [デバイスマネージャ] を開く

パソコンによっては、BIOS設定にて、USBを有効にする必要があります。詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 各項目の「＋」をクリックして、それぞれの項目内のデバイスを確認する

「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」項目の中に「USB オーディオデバイス」があること、「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」項目の中に「USB 互換デバイス」があることを確認してください。

例：Windows®98 SEの表示

POINT

- インストールした2種類のUSB デバイスは、本機の電源が入っていてUSB ケーブルで接続しているときだけ「デバイスマネージャ」に現れます。本機を接続していないときは、「デバイスマネージャ」には現れないのでご注意ください。

パソコンからの音声信号が再生されるか確認する

1 本機の音量を適当な音量に合わせる

2 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [サウンド] を開く

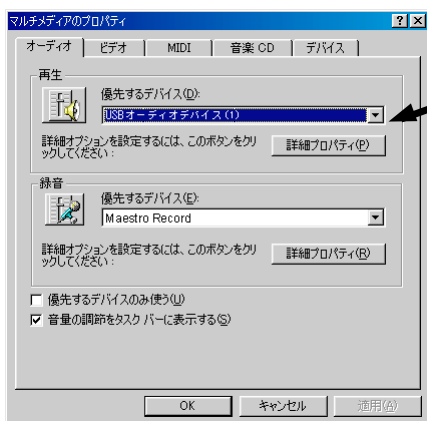
3 「Windows の起動」を選んでから、再生ボタンをクリックする

例：Windows®98 SEの表示

本機から「Windows の起動」音が聞こえてくれば、ドライバのインストールは終了です。

「Windows の起動」音が聞こえてこないときは、次のことを確認してみてください。

- [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]を開き、「優先するデバイス」が「USBオーディオ デバイス」になっているか確認します。
  「USB オーディオ デバイス」になっていないときは、▼をクリックしてプルダウンメニューの中から「USBオーディオ デバイス」を選びます。

  例：Windows®98 SEの表示

  参考：他のサウンドカードから音を出すときもここを変更します。

- [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[ボリュームコントロール]を開き、音量が最小になっていたり、「ミュート」にクリックマークがついていないかを確認します。
  音量が最小になっているときは音量を上げ、「ミュート」にクリックマークが付いているときは、マークをクリックしてクリックマークをはずします。

使用中に問題があるときは、次のことを確認してみてください。

本機が認識されない：

- USB ケーブルで本機とパソコンをしっかり接続します。
- USBハブを使って接続しているときは、ハブが正しく動作しているか確認してください。または接続するポートを変えてみてください。

音が出ないまたは小さい：

- ボリュームコントロールの設定が違っていないか、優先するデバイス、ミュートを確認してください。

音が途切れる：

- 音声出力中、CPU に負担のかかる作業をしているときは、音が途切れることがあります。CPU に負担のかかる作業は控えてください。
- 音声出力中に他のUSB ケーブルの抜き差しをすると、音が途切れることがあります。音声の再生中に、他の機器のUSBケーブルを抜き差ししないでください。

雑音が多い：

- 本機が強い電磁波を発生するもの(テレビなど)の近くに置かれていると雑音が多くなることがあります。強い電磁波を発生するものから十分に離して設置してください。

Net MD（MDX-J9のみ）

Net MD機能について

パソコンの標準的なインターフェイスであるUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続して、パソコンから本機のMDに高速で音楽データを転送することができます。パソコンから本機のMDの基本的な操作ができ、MDに録音された音楽データのタイトル編集も可能です。

はじめに

ここでは、Net MD機能を楽しむために、MDX-J9と組み合わせて使う音楽データ管理ソフトウェア「Mulia」（以下「Mulia」と称します）のインストール方法と使用上の注意を説明します。
「Mulia」および、「Mulia」を使用してのMet MD機能の詳しい使い方は、オンラインヘルプを参照してください。

付属の「Mulia」は、CDに記録された音楽などをパソコンのハードディスクに記録して、再生・編集・管理ができるソフトウェアです。
音楽データは、圧縮されたデータの音質を飛躍的に向上させる「Supreme」（用語説明 82ページ）を採用しているため、高音質で再生ができます。
音楽データを暗号化して記録する著作権保護技術「OpenMG」の採用により、著作権者の意志に沿った音楽データの記録、再生ができます。

Net MD機能をお使いになるには、「Mulia」を、パソコンのハードディスクにインストールする必要があります。
「インストールの前に」（次ページ）に進んでください。

- Windowsの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書、またはオペレーティングシステムの取扱説明書を参照してください。

インストールの前に

ご使用の環境を確認しましょう

「Mulia」を使用するには、次のハードウェアとソフトウェアが必要です。インストールをする前に確認してください。

	必要条件	備考
オペレーティングシステム	Windows 98 Second Edition/ Windows Millennium Edition/ Windows 2000 Professional/ Windows XP Home Edition/ Windows XP Professional	Windows 95 / Windows 98 / Windows NT / Windows 2000（Serverなど）では動作保証しません。
本体	上記オペレーティングシステムのいずれかを正式にサポートしているIBM PC/AT互換機（日本語版のみ）	Macintoshでは動作しません。
CPU	MMX Pentium 233MHz以上 PentiumⅡ400MHz以上推奨	CD録音やファイルをインポートしているとき、またはチェックイン/チェックアウト（用語説明82ページ）をしているときは、パソコンの処理能力によって再生音が途切れることがあります。
メモリ	64MB以上	
ハードディスク空き容量	150MB以上	Windowsのバージョンによって異なります。 音楽データを記録・再生するための空き容量が別途必要です。
ディスプレイ	High Color（16bit）以上 800×600ドット以上	256色以下では、正常に動作しない場合があります。
サウンドボード	Windows 98 Second Edition/ Windows Millennium Edition/ Windows 2000 Professional/ Windows XP Home Edition/ Windows XP Professional 対応のサウンドボード	
その他	USBポート （USB規格Ver.1.1に準拠）	USBハブで拡張されたUSBポートは動作保証しません。
	CD-ROMドライブ	CD-ROMドライブによっては、CDからの録音が正しくできない場合があります。 USBで接続したCD-ROMドライブからの録音は動作保証しません。
	Internet Explorer 5.0以降、 Windows Media Player 7.0以降	Windows Media Player 7.0以前のものをお使いの場合は、アップグレードを行ってください。

上記環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

注意 Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional をお使いの場合

Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalで「Mulia」を動作させる場合は、以下の制限があります。

- Windowsドメインユーザーアカウントから、ログオンして使用することはできません。
- インストールは、管理者権限(Administrator)の権限で行ってください。
  管理者権限(Administrator)のあるユーザーでも、全角のユーザー名でログオンすると、インストールが失敗することがあります。その場合は、いったんログオフして管理者権限(Administrator)のユーザー名でログオンし、「Mulia」をアンインストール(79ページ)してから、再度、管理者権限(Administrator)のユーザー名でログオンして、インストールを実行してください。
- 「Mulia」を使用するときは、管理者権限(Administrator)および標準ユーザー権限(Power User)のユーザー名でログオンして実行してください。
- Windows 98 Second Edition、またはWindows Millennium Editionとデュアルブート環境にしている場合に、両方のOSに「Mulia」をインストールすると、データが正しく記録・再生できません。
- NTFSフォーマットは標準インストール(お買い上げ時)でのみお使いになれます。

Muliaのインストール

お手持ちのパソコンのハードディスクに「Mulia」をインストールします。別紙の「Net MDドライバのインストール」を行う前に、先に「Mulia」のインストールを行ってください。
あらかじめWindowsを起動しておきます。使用中のソフトウェアがある場合は、全て終了してください。
なお、「Mulia」をインストールするときは、本機とパソコンをUSBケーブルで接続していない状態で行ってください。

1 添付の「Muliaインストール用CD-ROM」をCD-ROMドライブに入れる

インストーラーが自動的に起動して、[Muliaインストール]画面が表示されます。
[Muliaインストール]画面が表示されないときは、デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、「Muliaインストール用CD-ROM」が挿入されているCD-ROMドライブをダブルクリックしてください。
「古いバージョンのOpenMG JukeboxまたはSonicStageが検出されました。」と画面に表示された場合は、[はい]ボタンをクリックし、次ページの「OpenMGのアップグレード」を参照して「OpenMG Jukebox」、または「SonicStage」のアップグレードを行ってください。

2 インストール先のフォルダを選ぶ

フォルダは自動的に選択されます。
変更する場合は[参照]ボタンをクリックし、インストールしたいフォルダを選択します。

3 [次へ] ボタンをクリックし、画面に表示される指示に従って操作する

4 「インストールが完了しました。PCを再起動します。」と画面に表示されたら、[OK] ボタンをクリックし、再起動する

続けて、別紙の「Net MDドライブのインストール」を行ってください。

POINT

- Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalをお使いの場合は、管理者権限(Administrator)のユーザー名でログオンして実行してください。
- 「Mulia」をインストールすると、以下のモジュールが追加されます。

  Microsoft® Data Access Components 2.5
  ©1981-1997 Microsoft Corporation.
  All rights reserved.

  Microsoft® DirectX® Media Runtime
  ©1998 Microsoft Corporation.
  All rights reserved.

  「Mulia」をアンインストールしても、上記のモジュールは削除されません。
- 「Mulia」をアンインストールしても、「Mulia」データの保存先として指定したフォルダには、「Mulia」で編集したデータが残ります。

OpenMGのアップグレード

古いバージョンの「OpenMG Jukebox」または「SonicStage」がインストールされている場合は、OpenMGのアップグレードを行います。

(1)　「OpenMG Jukebox Ver.1.X／2.0／2.1」でチェックアウトした曲をチェックインする

(2)　バックアップツールで、曲データのバックアップを行う

バックアップの方法は、「OpenMG Jukebox」のオンラインヘルプを参照してください。

(3)　添付の「Muliaインストール用CD-ROM」をCD-ROMドライブに入れる

インストーラーが自動的に起動して、[Muliaインストール]画面が表示されます。

[Muliaインストール]画面が表示されないときは、デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、「Muliaインストール用CD-ROM」が挿入されているCD-ROMドライブをダブルクリックしてください。

(4)　[Open MG Jukebox 2.2へのアップグレード]ボタンをクリックする

(5)　[はい]ボタンをクリックする

(6)　以降、画面に表示される指示に従って操作する

「ロックされたファイルの検出」と画面に表示された場合は、[無視]ボタンをクリックする。

(7)　アップグレードが終了したら、「Muliaのインストール」(78ページ)を実行する

Muliaのアンインストール(削除)

「Mulia」が不要になった場合は、プログラムを削除します。

(1)　[スタート]ー[プログラム]ー[Mulia]ー[アンインストール]をクリックする

アンインストーラが起動します。

(2)　以降、画面に表示される指示に従って、アンインストールを実行する

- Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalをお使いの場合は、管理者権限(Administrator)のユーザー名でログオンして実行してください。

Muliaを使うときの注意

「Mulia」を使う前に必ずお読みください。

■ ACアダプターを使う

本機は、乾電池とACアダプターの両方に対応していますが、「Mulia」を使うときは、必ずACアダプターを使用してください。

■ MDX-J9とパソコンをUSBケーブルで接続するとき

必ず「Mulia」をインストールしてから、接続してください。
「Mulia」を使用中は、USBケーブルの抜き差しをしないでください。また、本機の電源を切らないでください。
Net MD機能を使うときは、パソコンと本機をUSBケーブルで接続した後に、本機で以下の設定をしてください。Net MD機能の詳しい使い方はオンラインヘルプをご覧ください。

（1） MD▶/❚❚キーを押してから、■（停止）キーを押す。
（2） プレイモードを解除する。（39ページ）
（3） MODEキーを押す。
（4） VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"NetMD ?"を選び、SETキーを押す。
（5） "NetMD ON"と表示されたら、SETキーを押す。

- "NetMD ON" のときは、本体のVOLUME/MULTI CONTROLつまみ、MODEキー、⏻キー、MD⏏キーのみ使えます。
- Net MDを解除するときは、手順（4）で"NetMD OFF"と表示されたら、SETキーを押してください。

■ システムサスペンド／システムハイバネーション（省電力）モードを設定しているとき

MDX-J9を接続中、または音楽を再生・録音中は、パソコンを省電力モードに移行しないようにしてください。
特に、CD録音、ファイルインポート、チェックイン／チェックアウト操作中に省電力モードに移行すると、データが失われたり、OSが正常に復帰しない場合があります。
省電力モードに移行したときは、CDなどのメディアを入れ替えないでください。復帰後にデータが失われることがあります。

■ CDを録音しているとき

「Mulia」でCD録音しているときは、CDを取り出さないでください。

■ 他のアプリケーションを使うとき

他の音楽アプリケーションと「Mulia」を同時に使用したり、他のCDプレーヤーを使用中に「Mulia」でCD録音を行うと、正しく動作しないことがあります。
「Mulia」で音楽を再生中に、他のアプリケーションを使用すると、再生音が途切れることがあります。

■ 格納ディレクトリについて

「Mulia」をインストールしたフォルダや音楽データを格納しているフォルダは、エクスプローラなどで操作しないでください。また、これらのフォルダを含むハードディスクのドライブ名は変更しないでください。

商標について

■ **MuliaおよびSupremeは、株式会社ケンウッドの商標です。**

■ **ケンウッド・ジオビットは、株式会社ケンウッドの商標です。**

■ **OpenMG**

OpenMGおよびSonic Stageはソニー株式会社の商標です。

（Sonic Stageはソニー株式会社製パーソナルコンピュータ「バイオ」にプリインストールされているソフトウェアです）

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中では ™、®マークは明記していません。

■ **MicrosoftおよびWindows, Windows NT, Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。**

■ **MMXおよびPentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。**

■ **libdes version 3.18**

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in thedocumentation and／or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by Eric Young（eay@mincom.oz.au）

This software is provided by Eric Young "As is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall the author or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

Gracenote is CDDB, Inc. d/b/a "Gracenote".CD and music-related data from Gracenote CDDB®,Music Recognition Service℠ © 2000, 2001, 2002 Gracenote. Gracenote CDDB Client Software © 2000, 2001,2002 Gracenote. U.S. Patents Numbers #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, and other patents issued or pending.

CDDB is a registered trademark of Gracenote.The Gracenote logo and logotype,the Gracenote CDDB logo and logotype,and the "Powered by Gracenote CDDB" logo are trademarks of Gracenote. Music Recognition Service and MRS are service marks of Gracenote.

Music recognition technology and related data are provided by Gracenote and the Gracenote CDDBR Music Recognition ServiceSM. Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information visit www.gracenote.com.

Gracenoteは、CDCB, Inc.であり、Gracenoteとして営業しています。（d/b/a "Gracenote"）
Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠ から取得するCDおよび音楽関連データ©2000、2001、2002 Gracenote。Gracenote CDDBクライアントソフトウェア©2000、2001、2002。米国特許番号#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773。その他の特許も取得済または申請中。
CDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteロゴおよびロゴタイプ、Gracenote CDDBロゴおよびロゴタイプ、ならびに"Powered by Gracenote CDDB"ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteのサービスマークです。
音楽認識技術および関連データは、GracenoteおよびThe Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠ により提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術および関連コンテンツ配信分野での業界標準です。より詳しい情報は、Webサイト"www.gracenote.com."をご覧ください。

用語説明

■ OpenMG

音楽配信サービスや音楽コンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができます。また、インターネットなどへの不正な配信を防止することができます。

■ Magic Gate

OpenMGを搭載したパソコンと「マジックゲート」対応機器との相互認証により、データ通信の暗号化を行い、著作権を保護する技術。デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。

■ チェックイン／チェックアウト

パソコン上でOpenMG対応ソフトウェアで管理している音楽データを、Net MDなどの外部機器・メディアに転送することを「チェックアウト」と言い、チェックアウトした音楽データを元のパソコンへ戻すことを「チェックイン」と言います。（チェックアウトしたデータを他のパソコンにチェックインすることはできません。）
1度チェックアウトしたデータをチェックインによりパソコンに戻した後、再びチェックアウトすることも可能です。
特別に利用方法に関する条件が付加された音楽データを除き、SDMIの基本ルールでは音楽データは1回のコピーで4部まで作成可能なため、1部はパソコンの内部に保存され、残りの3部は外部機器、メディアへチェックアウトできます。

■ SDMI（Secure Digital Music Initiativeの略）

全世界に共通して使用できる著作権保護技術の統一方式を開発するために、レコード業界・コンピュータ業界・民生用エレクトロニクス業界など約130社以上の企業・団体が集まり、構成されたフォーラム。音楽ファイルの違法な使用を阻止し、合法な音楽配信サービスを促進するための枠組み作りを行っています。

■ Supreme

ケンウッド・ジオビット社が開発したデータ音質向上技術。
MP3をはじめとする圧縮形式の音楽データフォーマットは、データ容量を小さくできる反面、再生時に音質が劣化します。これは、圧縮の際に高音域を中心としたデータが間引かれることが原因であり、「Supreme」は、その高音域帯を補完することで、原音に近い音楽データの再生ができます。

付属アプリケーション「Mulia」での著作権保護による制限

付属アプリケーション「Mulia」は、音楽コンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術「OpenMG」を採用しています。「OpenMG」は、著作権保護されたデータをパソコンで取り扱うために、SDMIの取り決めに従って高度な暗号化技術を用いています。
お使いいただくときに、以下のような制限がありますのでご了承ください。

- 付属アプリケーション「Mulia」を使ってパソコンのハードディスクに入れられた音楽は、他のパソコンにコピーしても再生することはできません。
- パソコンから外部機器またはメディアにチェックアウトした音楽データは、そのデータを他のパソコン等にコピーしても再生できません。
- 外部機器またはメディアにチェックアウトした音楽データは、転送元であるパソコン以外にチェックインすることはできません。
- 複数のパソコンに同一の付属アプリケーション「Mulia」をインストールすることはできません。
- 付属アプリケーション「Mulia」は、SDMIの取り決めにより、コピー禁止信号が埋め込まれている音楽データを取り扱うことはできません。
- 著作権者やサービス事業者の意志により、音楽データに、利用方法に関する条件が付加される場合があります。この場合、その条件に沿った操作のみが可能になります。
- 音楽CD等で利用方法に関する条件が付加されていないとき、SDMIの基本ルールに沿った操作のみが可能です。（82ページ用語解説　チェックイン/チェックアウト）
- 付属アプリケーション「Mulia」は、SDMIの取り決めに基づいて作られています。将来この規定が改訂される場合、改訂内容によっては、一部の機能が使えなくなる可能性があります。

サポートについて

■「Mulia」および「Mulia」の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用下さい（裏表紙）

■「Mulia」サポートおよび製品情報に関するホームページアドレス

http://www.kenwood.com/j/download/mulia/index.html

■「OpenMG Jukebox」についてのお問い合わせは、OpenMGテクニカルインフォメーションセンターをご利用下さい

お問い合せ先電話番号	**電話（045）650-2774**
サポート時間	**土・日・祝日を除く　平日10:00～17:00　（電話での対応のみ）**

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

使用上のご注意

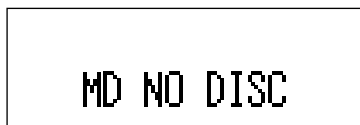
結露にご注意

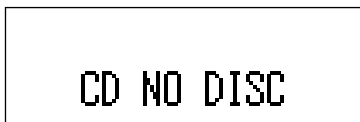
本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

移動時の注意点

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

(1) CD、MDを取り出します。
(2) MD▶/❚❚キーを押す。
(3) しばらく待って、表示部が図のようになることを確かめてください。

MD NO DISC

(4) CD▶/❚❚キーを押す。
(5) しばらく待って、表示部が図のようになることを確かめてください。

CD NO DISC

(6) 数秒間待って、電源を切ります。

お手入れのしかた

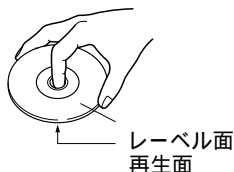
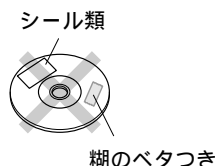
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

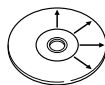
接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

ディスクの取り扱いかた

ディスク取扱上のご注意

再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD（12cm、8cm）およびCDVとCD-G (CDグラフィックス) 、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。
ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

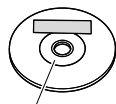
異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

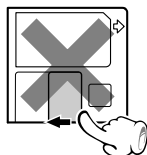
図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。

クランピング
エリア

シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

MDの取り扱いかた

MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

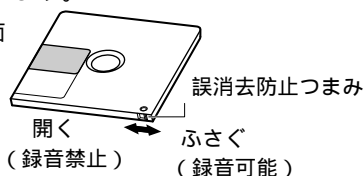
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ（WRITE PROTECT）を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

メモリーバックアップ

ACアダプターをコンセントから抜く、または乾電池で使用時に乾電池を抜くと消えるメモリーの内容

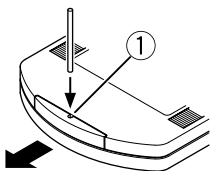
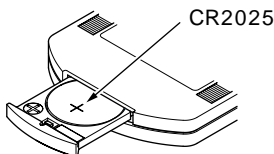
時計表示

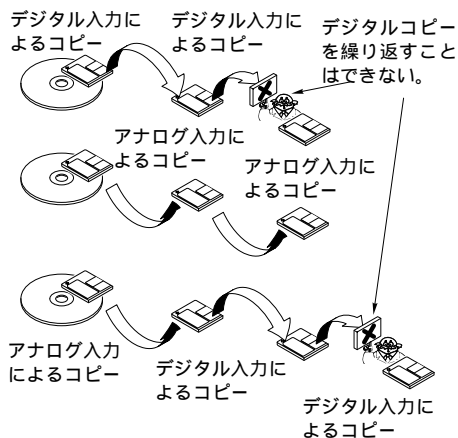
ACアダプターをコンセントから抜く、または乾電池で使用時に乾電池を抜くと1日で消えるメモリーの内容

- **アンプ部**
  インプットセレクター
  ボリューム値
  トーンコントロール値
  AUXインプット値
  タイマーの設定内容
- **チューナー部**
  受信バンド
  周波数
  プリセット放送局
  オート選局の設定
- **MD部**
  録音モード（MDX-J7のみ）
  録音スピード
  スタンプ（STAMP）機能

リモコンのボタン電池の交換

市販のボタン電池（CR2025）と交換します。

（1）① の穴にピンのような細いものを差し込んで引き出してください。

（2）新しいボタン電池と交換してください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話（03）5353-0336 （代表）
FAX.（03）5353-0337

故障かな?と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源が入っているときに、接続コードを抜き差ししたり、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作することがあります。このようなときは、リセットしてみてください。

ACアダプターをコンセントから抜き、乾電池をはずして、SET/Demoキーを押しながらACアダプターを差し込みます。マイコンが初期状態になり、記憶されていた内容は消去されます。

共通部

症状	対策
乾電池で動作しない。	→ DC IN コネクターからACアダプターのプラグを抜く(14ページ)。
音が出ない。	→ 音量を上げる(22ページ)。 → ヘッドホンが差し込まれているときは抜く(17ページ)。
ヘッドホンから音がでない。	→ ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する(17ページ)。
雑音が入る。	→ ACアダプターと本体を離す。 → 外部アンテナを道路から離して設置する(16ページ)。 → 電気器具の電源を切ってみる。 → テレビやパソコンから離す。

アンプ／スピーカー部

症状	対策
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	→ 現在時刻をもう一度合わせる(18ページ)。
タイマーが作動しない。	→ 現在時刻を合わせていない、または停電があった。現在時刻を合わせる(18ページ)。 → タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する(67～70ページ)。
放送局が受信できない。	→ 付属のAMループアンテナをAM ANTENNA端子に接続する(14ページ)。 → FMロッドアンテナを引き伸ばして、受信状態の良い方向に向ける(14ページ)。または、 FM屋外アンテナを接続する(16ページ)。 → 受信したい放送局の周波数に合わせる(21ページ)。
プリセットした後、P. CALLキーを押しても放送局を受信できない。	→ 受信できる周波数の放送局をプリセットする。(19～21ページ)。 → 長い間、ACアダプターまたは乾電池を抜いていたため、メモリーが消えてしまった。もう一度プリセットする(19～21ページ)。

次ページに続く➔

リモコン部

症状	対策
リモコンで操作できない。	→ 新しいボタン電池に交換する。（86ページ） → 操作する位置が遠すぎる、または障害物がある。リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作する。（15ページ） → 本機が乾電池で動作しているときは、リモコンでは電源をオンすることはできません。本体のキーで電源をオンする。（16ページ）

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

症状	対策
短い曲を消しても、録音可能時間が増えない。	→ 消去された曲の合計時間が12秒未満の場合は、録音可能時間は増えません。 → 編集を繰り返したMDの場合、録音可能時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	→ 編集を繰り返したMDの場合、曲をつなげないことがあります。 → 録音モードが異なる曲、短い曲をつなげることはできません。
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間と一致しない。	→ 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	→ 編集を繰り返したMDの場合、音が途切れることがあります。
"MD READING"が表示される時間が長い。	→ 新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間"MD READING"が表示されます。

MDレコーダー部

症状	対策
再生キーを押しても音が出ない。	→ 録音済みのMDを入れる。
録音ができない。	→ 誤消去防止つまみを元に戻す。（85ページ） → 入力切換を録音したいソースにする。（43ページ）
録音レベルが低い。（AUX使用時）	→ AUX INPUTレベルを調節する。（36ページ）
音がひずむ。	→ 録音レベルの設定をしていない。（AUX使用時）AUX INPUTレベルを調節する。（36ページ）デジタル録音レベルを調節する。（44ページ）
電源が切れているときにMDが取り出せない。	→ MDホルダーにロックがかかっていることがあるので、電源を入れてからMDを取り出す。

症状	対策
ディスクタイトルが "0;×××//1-2;××//・・・"（例）と表示される。	→ 他機種または「Mulia」によってグループ編集されたMDの場合、このように表示されることがあります。故障ではありません。

CDプレーヤー部

症状	対策
再生キーを押しても音が出ない。	→ CDを正しく入れる。（22ページ） → 「ディスクの取り扱いかた」を参照し、ディスクを清掃する。（84～85ページ） → 「結露にご注意」を参照し、露を蒸発させる。（84ページ）
音が飛ぶ。	→ 「ディスクの取り扱いかた」を参照し、CDを清掃する。（84～85ページ） → CDに傷がついていないか確認する。 → 振動のない場所に設置する。

USBについて

→ 75ページをご覧ください。

「Mulia」について

→ 83ページ、またはオンラインヘルプをご覧ください。

メッセージ表示の一覧

メッセージ		意味
AM TIMER REC ERROR	→	タイマー録音でAMラジオ放送をMDに録音しようとしたとき、タイマー設定後に誤ってAMループアンテナを外してしまったため、タイマー録音することができなかった。
BLANK DISC	→	何も録音されていないMDです。
CAN'T COPY	→	SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。アナログ録音に切り替えてください。（44ページ） オーディオ信号でないデジタル信号を録音しようとしている。録音できません。
CAN'T EDIT	→	長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。
CAN'T PLAY	→	何らかの原因でMDの信号を読み取れない。
CHECK DISC	→	CDでTOC*の内容が読み取れない。 ファイナライズされていないCD-Rを入れている。 CDを確認する。（22ページ）
DISC FULL	→	録音可能なエリアがない。
EDIT ERROR	→	MDの編集がうまくいかなかったとき。
FULL	→	最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。（48ページ）
GROUP MODEを解除して下さい	→	MDがグループモードになっていて、再生中にMD EDITキーが押されたとき。 通常の再生に戻す。（37ページ）
GROUP MODEを解除します	→	MDがグループモードになっていて、停止中にMD EDITキーが押されたとき。 この後、MDの編集ができます。
LOCKED	→	録音中または編集操作後、書き込みをしないでにMDを取り出そうとした。
MD NO DISC	→	MDが入っていない。
MD READING	→	TOC* 情報を読み込んでいる。
MD REC X 外部アンテナを接続して下さい	→	AMループアンテナを接続せずに、AMラジオ放送をMDに録音しようとしている。

メッセージ		意味
MD WRITING	→	編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
WRITINGを して下さい	→	MD編集操作をしたあとに書き込みをしないでプレイモードまたはプログラムモードを設定しようとしたとき。
NORMAL SPEEDに して下さい	→	CDがプログラムモードになっていて、CD→MD倍速録音しようとしたとき。
PGM MODEを 解除して下さい	→	MDがプログラムモードになっていて、MDの編集をしようとしたとき。
PLAY ONLY	→	再生専用のMDに録音、または編集をしようとしている。 録音用のMDを入れる。
POWER ERROR	→	本機内で電源電圧異常が発生しています。お買い上げの販売店か、または、当社サービス拠点にご相談ください。
PROTECTED	→	MDの誤消去防止つまみが"録音禁止"になっている。 "録音可能"にする。(85ページ)
REP/RDMを 解除して下さい	→	CDのプレイモード(REPEAT、RANDOM)が選ばれている状態で、O.T.E.録音をしようとしたとき。 MDのプレイモード(REPEAT、RANDOM)が選ばれている状態で、MDの編集をしようとしたとき。
SYSTEM ERROR	→	何らかのトラブルを示します。電源をいったん切ってから、もう一度電源を入れ直してください。
TEMP ERROR	→	本機内の温度が異常に高くなった。お買い上げの販売店か、または、当社サービス拠点にご相談ください。
UNLOCK	→	光ケーブルが外れている、あるいは接続が不完全である。 サンプリング周波数が38kHz、44.1kHz、48kHz以外の外部ソース機器を接続している。
UTOC ERROR	→	音楽MD以外のMDが挿入された。 TOCの内容が読みとれない。 UTOC* の内容が異常である。"ALL ERASE"を行う。(62ページ) それができないときは、MDを取り換えてください。
◯◯◯◯◯×	→	"◯◯◯◯◯"の操作はできません。

* すべてのMDには音声信号以外にTOC (Table of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC 以外に録音用MDに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス

保証書　（別途添付）
製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。（お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の保有期間
当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について
システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は
「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- **お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害**
- **録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害**

保証期間中は
保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理
「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の箇所（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は
保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み
（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）
- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料：郵便・宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　）　　　-

区点コード表

区点コード表の検索のしかた

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	➡01600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	01610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	01620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	01630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	01640	鞍	杏								

区点コード表を使って、目的となる文字のコードを探します。

(例)愛

(1) 表から"愛"の文字を捜す。

(2) 区点番号"01600"の行の6番目の文字であるので、区点番号"01606"をメモなどに控える。

(3) "MDのタイトル編集機能"を参照して、文字を入力する。

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	00100			、	。	，	．	・	：	；	？
	00110	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
	00120	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
	00130	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
	00140	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
	00150	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
	00160	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
	00170	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	00180	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
	00190	★	○	●	◎	◇					
	00200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
	00210	→	←	↑	↓	〓					
英・数字	00310							０	１	２	３
	00320	４	５	６	７	８	９				
	00330				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
	00340	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
	00350	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
	00360						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
	00370	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
	00380	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
	00390	ｚ									
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひらがな	00400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
	00410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
	00420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
	00430	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
	00440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	00450	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
	00460	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
	00470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	00480	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	00500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
	00510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
	00520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	00530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
	00540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	00550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	00560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
	00570	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	00580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ギリシャ	00600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
	00610	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
	00620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
	00630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
	00640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	00650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
ロシア	00700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
	00710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	00720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	00730	Ь	Э	Ю	Я						
	00740										а
	00750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	00760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	00770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	00780	ю	я								
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	01600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	01610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	01620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	01630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	01640	鞍	杏								
い	01640			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	01650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	01660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	01670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	01680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	01690	引	飲	淫	胤	蔭					
	01700		院	陰	隠	韻	吋				
う	01700							右	宇	烏	羽
	01710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	01720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	01730	云	運	雲							
え	01730				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	01740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	01750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	01760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	01770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	01780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お	01780								於	汚	甥
	01790	凹	央	奥	往	応					
	01800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	01810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	01820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か	01820									下	化
	01830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	01840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	01850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	01860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	01870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	01880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	01890	恢	懐	戒	拐	改					
	01900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	01910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	01920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	01930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	01940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	01950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	01960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	01970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	01980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	01990	噛	鴨	栢	茅	萱					
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
か	02000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	02010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	02020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	02030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	02040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	02050	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	02060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	02070	贋	雁	頑	顔	願					
き	02070						企	伎	危	喜	器
	02080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	02090	旗	既	期	棋	棄					
	02100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	02110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	02120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	02130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	02140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	02150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	02160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	02170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	02180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	02190	禦	魚	亨	享	京					
	02200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	02210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	02220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	02230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	02240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	02250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	02260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く	02260										九
	02270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	02280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	02290	串	櫛	釧	屑	屈					
	02300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	02310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	02320	郡									
け	02320		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	02330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	02340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	02350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	02360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	02370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	02380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	02390	建	憲	懸	拳	捲					
	02400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	02410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
け	02420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	02430	絃	舷	言	諺	限					
こ	02430						乎	個	古	呼	固
	02440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	02450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	02460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	02470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	02480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	02490	効	勾	厚	口	向					
	02500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	02510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	02520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	02530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	02540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	02550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	02560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	02570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	02580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	02590	忽	惚	骨	狛	込					
	02600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	02610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ	02610										些
	02620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	02630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	02640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	02650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	02660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	02670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	02680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	02690	鮭	笹	匙	冊	刷					
	02700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	02710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	02720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	02730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し	02730								仕	仔	伺
	02740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	02750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	02760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	02770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	02780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	02790	字	寺	慈	持	時					
	02800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	02810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	02820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	02830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	02840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	02850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	02860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	02870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	02880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	02890	綬	需	囚	収	周					
	02900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	02910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	02920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	02930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	02940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	02950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	02960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	02970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	02980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	02990	恕	鋤	除	傷	償					
	03000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	03010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	03020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	03030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	03040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	03050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	03060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	03070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	03080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	03090	醸	錠	嘱	埴	飾					
	03100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	03110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	03120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	03130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	03140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	03150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す	03150									笥	諏
	03160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	03170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	03180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	03190	椙	菅	頗	雀	裾					
	03200		澄	摺	寸						
せ	03200					世	瀬	畝	是	凄	制
	03210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	03220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	03230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	03240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	03250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	03260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
せ	03270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	03280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	03290	煽	旋	穿	箭	線					
	03300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	03310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	03320	全	禅	繕	膳	糎					
そ	03320						噌	塑	岨	措	曾
	03330	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	03340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	03350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	03360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	03370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	03380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	03390	霜	騒	像	増	憎					
	03400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	03410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	03420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た	03430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	03440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	03450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	03460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	03470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	03480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	03490	諾	茸	凧	蛸	只					
	03500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	03510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	03520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	03530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	03540	暖	檀	段	男	談					
ち	03540						値	知	地	弛	恥
	03550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	03560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	03570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	03580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	03590	丁	兆	凋	喋	寵					
	03600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	03610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	03620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	03630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	03630								津	墜	椎
	03640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	03650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	03660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	03660							亭	低	停	偵
	03670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
て	03680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	03690	艇	訂	諦	蹄	逓					
	03700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	03710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	03720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	03730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と	03730									兎	吐
	03740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	03750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	03760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	03770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	03780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	03790	答	筒	糖	統	到					
	03800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	03810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	03820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	03830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	03840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	03850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	03860	頓	呑	曇	鈍						
な	03860					奈	那	内	乍	凪	薙
	03870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	03880	軟	難	汝							
に	03880				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	03890	虹	廿	日	乳	入					
	03900		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ	03900									濡	
ね	03900										禰
	03910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	03920	粘									
の	03920		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	03930	脳	膿	農	覗	蚤					
は	03930						巴	把	播	覇	杷
	03940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	03950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	03960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	03970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	03980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	03990	爆	縛	莫	駁	麦					
	04000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	04010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	04020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	04030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	04040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	04050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひ	04050										匪
	04060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	04070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	04080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	04090	枇	毘	琵	眉	美					
	04100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	04110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	04120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	04130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	04140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	04150	敏	瓶								
ふ	04150			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	04160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	04170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	04180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	04190	伏	副	復	幅	服					
	04200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	04210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	04220	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	04220							丙	併	兵	塀
	04230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	04240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	04250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	04260	鞭									
ほ	04260		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	04270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	04280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	04290	抱	捧	放	方	朋					
	04300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	04310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	04320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	04330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	04340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	04350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	04360	本	翻	凡	盆						
ま	04360					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	04370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	04380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	04390	繭	麿	万	慢	満					
	04400		漫	蔓							
み	04400				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	04410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む	04410										務
	04420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め	04420										冥
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
め	04430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	04440	免	棉	綿	緬	面	麺				
も	04440							摸	模	茂	妄
	04450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	04460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	04470	紋	門	匁							
や	04470				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	04480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	04490	鑓									
ゆ	04490		愉	愈	油	癒					
	04500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	04510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	04520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	04520										予
	04530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	04540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	04550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	04560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	04560										羅
	04570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	04580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り	04580									利	吏
	04590	履	李	梨	理	璃					
	04600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	04610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	04620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	04630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	04640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	04650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る	04660	瑠	塁	涙	累	類					
れ	04660						令	伶	例	冷	励
	04670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	04680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	04690	漣	煉	簾	練	聯					
	04700		蓮	連	錬						
ろ	04700					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	04710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	04720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	04730	肋	録	論							
わ	04730				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	04740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	04750	碗	腕								
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
一	04800		弌	丐	丕						
丨	04800					个	丱				
丶	04800							丶	丼		
丿	04800									丿	乂
	04810	乖	乘								
乙	04810			亂							
亅	04810				亅	豫	亊	舒			
二	04810								弍	于	亞
	04820	亟									
亠	04820		亠	亢	亰	亳	亶				
人	04820							从	仍	仄	仆
	04830	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
	04840	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
	04850	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
	04860	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
	04870	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
	04880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
	04890	傀	傚	傅	傴	傲					
	04900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
	04910	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
	04920	儡	儺	儷	儼	儻					
儿	04920						儿	兀	兒	兌	兔
	04930	兢	竸								
入	04930			兩	兪						
八	04930					兮	冀				
冂	04930							冂	囘	册	冉
	04940	冏	冑	冓	冕						
冖	04940					冖	冤	冦	冢	冩	冪
冫	04950	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
几	04960	几	處	凩	凭	凰					
凵	04960						凵	凾			
刀	04960								刄	刋	刔
	04970	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
	04980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
	04990	劒	剱	劈	劑	辨					
	05000		辧								
力	05000			劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
	05010	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸			
勹	05010								勹	匆	匈
	05020	甸	匍	匐	匏						
匕	05020					匕					
匚	05020						匚	匣	匯	匱	匳
匸	05030	匸	區								
十	05030			卆	卅	丗	卉	卍	凖		
卜	05030									卞	
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
卩	05030										卩
	05040	卮	夘	卻	巻						
厂	05040					厂	厖	厠	厦	厥	厮
	05050	厰									
厶	05050		厶	參	篡						
又	05050					雙	叟	曼	燮		
口	05050									叮	叨
	05060	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
	05070	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
	05080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
	05090	咥	咬	哄	哈	咨					
	05100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
	05110	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
	05120	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
	05130	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
	05140	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
	05150	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
	05160	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
	05170	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
	05180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓		
囗	05180									囗	囮
	05190	囹	圀	囿	圄	圉					
	05200		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	
土	05200										圦
	05210	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
	05220	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
	05230	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
	05240	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
	05250	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
	05260	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟			
士	05260								壯	壺	壹
	05270	壻	壼	壽							
夂	05270				夂						
夊	05270					夊	夐				
夕	05270							夛	梦	夥	
大	05270										夬
	05280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
	05290	奢	奠	奧	奬	奩					
女	05300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
	05310	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
	05320	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
	05330	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
	05340	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
	05350	孀									
子	05350		孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
子	05360	學	斈	孺							
宀	05360				宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
	05370	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
	05380	寳									
寸	05380		尅	將	專	對					
小	05380						尓	尠			
尢	05380								尢	尨	
尸	05380										尸
	05390	尹	屁	屆	屎	屓					
	05400		屐	屏	孱	屬					
屮	05400						屮				
山	05400							乢	岏	屹	岌
	05410	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
	05420	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
	05430	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
	05440	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
	05450	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
	05460	巓	巒	巖							
巛	05460				巛						
工	05460					巫					
已	05460						已	巵			
巾	05460								帋	帚	帙
	05470	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
	05480	幟	幢	幤	幇						
干	05480					幵	并				
幺	05480							幺	麼		
广	05480									广	庠
	05490	廁	廂	廈	廐	廏					
	05500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
	05510	廬	廱	廳	廰						
廴	05510					廴	廸				
廾	05510							廾	弃	弉	彝
	05520	彜									
弋	05520		弋	弑							
弓	05520				弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
	05530	彎	弯								
彑	05530			彑	彖	彗	彙				
彡	05530							彡	彭		
彳	05530									彳	彷
	05540	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
	05550	徠	徨	徭	徼						
	05550					忖	忻	忤	忸	忱	忝
心	05560	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
	05570	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
	05580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
心	05590	悁	悍	惧	悃	悚					
	05600		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
	05610	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
	05620	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
	05630	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
	05640	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
	05650	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
	05660	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
	05670	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
	05680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	
戈	05680										戈
	05690	戉	戍	戌	戔	戛					
	05700		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳		
戸	05700									扁	
手	05700										扎
	05710	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
	05720	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
	05730	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
	05740	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
	05750	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
	05760	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
	05770	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
	05780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
	05790	撓	撥	撩	撈	撼					
	05800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
	05810	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
	05820	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	
攴	05820										攴
	05830	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
	05840	敞	敝	敲	數	斂	斃	變			
斗	05840								斛	斟	
斤	05840										斫
	05850	斷									
方	05850		旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	
无	05850										无
	05860	旡									
日	05860		旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
	05870	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
	05880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
	05890	曁	暹	曉	暾	暼					
	05900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	
曰	05900										曰
	05910	曵	曷								
月	05910			朏	朖	朞	朦	朧	霸		
木	05910									朮	朿
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
木	05920	朶	朷	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
	05930	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
	05940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
	05950	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
	05960	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
	05970	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
	05980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
	05990	椢	椦	棡	椌	棍					
	06000		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
	06010	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
	06020	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
	06030	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
	06040	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
	06050	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
	06060	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
	06070	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
	06080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
	06090	檍	檠	檄	檢	檣					
	06100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
	06110	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
	06120	欖	鬱	欟							
欠	06120				欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
	06130	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡			
止	06130								歸		
歹	06130									歹	歿
	06140	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
	06150	殯	殲	殱							
殳	06150				殳	殷	殼	毆			
毋	06150								毋	毓	
毛	06150										毟
	06160	毬	毫	毳	毯	麾	氈				
氏	06160							氓			
气	06160								气	氛	氤
	06170	氣									
水	06170		汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
	06180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
	06190	泅	泝	沮	沱	沾					
	06200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
	06210	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
	06220	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
	06230	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
	06240	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
	06250	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
	06260	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
	06270	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
水	06280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
	06290	滲	漱	滯	漲	滌					
	06300		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
	06310	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
	06320	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
	06330	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
	06340	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
	06350	瀲	灑	灣							
火	06350				炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
	06360	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
	06370	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
	06380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
	06390	燠	燬	燧	燵	燼					
	06400		燹	燿	爍	爐	爛	爨			
爪	06400								爭	爬	爰
	06410	爲									
爻	06410		爻	爼							
爿	06410				爿	牀	牆				
片	06410							牋	牘		
牛	06410									牴	牾
	06420	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧			
犬	06420								犹	犲	狃
	06430	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
	06440	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
	06450	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
	06460	獺									
玉	06460		珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
	06470	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
	06480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
	06490	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
瓜	06500		瓠	瓣							
瓦	06500				瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
	06510	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	
甘	06510										甞
生	06520	甦									
用	06520		甬								
田	06520			甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
	06530	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
	06540	疊	疉	疂							
病	06540				疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
	06550	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
	06560	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
	06570	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
	06580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
	06590	癩	癪	癧	癬	癰					
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
病	06600		癲								
癶	06600			癶	癸	發					
白	06600						皀	皃	皈	皋	皎
	06610	皖	皓	皙	皚						
皮	06610					皰	皴	皸	皹	皺	
皿	06610										盂
	06620	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	
目	06620										盻
	06630	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
	06640	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
	06650	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
	06660	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚				
矛	06660							矜			
矢	06660								矣	矮	
石	06660										矼
	06670	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
	06680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
	06690	碾	碼	磅	磊	磬					
	06700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
	06710	礫									
示	06710		祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
	06720	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳			
禸	06720								禹	禺	
禾	06720										秉
	06730	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
	06740	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
	06750	穢	穩	龝	穰						
穴	06750					穹	穽	窈	窗	窕	窘
	06760	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
	06770	竊									
立	06770		竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
	06780	竦	竭	竰							
竹	06780				笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
	06790	笞	笵	笨	笶	筐					
	06800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
	06810	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
	06820	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
	06830	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
	06840	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
	06850	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
	06860	籘	籟	籤	籖	籥	籬				
米	06860							籵	粃	粐	粤
	06870	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
	06880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
	06890	糲	糴	糶							
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
糸	06890				紖	紆					
	06900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
	06910	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
	06920	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
	06930	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
	06940	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
	06950	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
	06960	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
	06970	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
	06980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
	06990	纎	纛	纜							
缶	06990				缸	缺					
	07000		罅	罌	罍	罎	罐				
网	07000							网	罕	罔	罘
	07010	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
	07020	羇									
羊	07020		羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
	07030	羮	羶	羸	譱						
羽	07030					翅	翆	翊	翕	翔	翡
	07040	翦	翩	翳	翹	飜					
老	07040						耆	耄	耋		
耒	07040									耒	耘
	07050	耙	耜	耡	耨						
耳	07050					耿	耻	聊	聆	聒	聘
	07060	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
聿	07070	聿	肄	肆	肅						
肉	07070					肛	肓	肚	肭	冐	肬
	07080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
	07090	脛	脩	脣	脯	腋					
	07100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
	07110	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
	07120	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
	07130	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
	07140	臠									
臣	07140		臧								
至	07140			臺	臻						
臼	07140					臾	舁	舂	舅	與	舊
舌	07150	舍	舐	舖							
舟	07150				舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
	07160	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	
艮	07160										艱
色	07170	艷									
艸	07170		艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
	07180	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
	07190	苞	茆	苜	茉	苙					
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
艸	07200		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
	07210	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
	07220	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
	07230	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
	07240	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
	07250	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
	07260	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
	07270	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
	07280	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
	07290	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
	07300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
	07310	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
	07320	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
	07330	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
虍	07340	虍	乕	虔	號	虧					
虫	07340						虱	蚓	蚣	蚩	蚪
	07350	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
	07360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
	07370	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
	07380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
	07390	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
	07400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
	07410	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
	07420	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
	07430	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
血	07440	衄	衂								
行	07440			衒	衙	衞	衢				
衣	07440							衫	袁	衾	袞
	07450	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
	07460	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
	07470	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
	07480	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
	07490	褸	襌	褝	襠	襞					
	07500		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷		
襾	07500									襾	覃
	07510	覈	覊								
見	07510				覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯
	07520	覲	覺	覽	覿	觀					
角	07520					觚	觜	觝	觧	觴	觸
言	07530	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
	07540	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
	07550	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
	07560	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
	07570	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
	07580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
言	07590	證	譖	譛	譚	譫					
	07600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
	07610	讓	讖	讙	讚						
谷	07610					谺	豁	谿			
豆	07610								豈	豌	豎
	07620	豐									
豕	07620		豕	豢	豬						
豸	07620					豸	豺	貂	貉	貅	貊
	07630	貍	貎	貔	豼	貘					
貝	07630						戝	貭	貪	貽	貲
	07640	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
	07650	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
	07660	賍	贔	贖							
赤	07660				赧	赭					
走	07660						赱	赳	趁	趙	
足	07660										跂
	07670	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
	07680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
	07690	蹂	踵	踰	踴	蹊					
	07700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
	07710	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
	07720	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡			
身	07720								躬	躰	軆
	07730	躱	躾	軅	軈						
車	07730					軋	軛	軣	軼	軻	軫
	07740	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
	07750	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
	07760	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤			
辛	07760								辜	辟	辣
	07770	辭	辯								
辵	07770			辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
	07780	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
	07790	逧	逶	逵	逹	迸					
	07800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
	07810	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
	07820	邊	邉	邏							
邑	07820				邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
	07830	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰				
酉	07830							酊	酖	酘	酣
	07840	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
	07850	醪	醵	醴	醺	釀	釁				
釆	07850							釉	釋		
里	07850									釐	
金	07850										釖
	07860	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
金	07870	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
	07880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
	07890	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
	07900		鎦	錢	錚	錣	錺	錵	鉽	鍜	鍠
	07910	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
	07920	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
	07930	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
	07940	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
	07950	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿			
門	07950								閂	閇	閊
	07960	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
	07970	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
	07980	關	闡	闥	闢						
阜	07980					阡	阨	阮	阯	陂	陌
	07990	陏	陋	陷	陜	陞					
	08000		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
	08010	險	隧	隱	隲	隰	隴				
隶	08010							隶	隷		
隹	08010									隹	雎
	08020	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕			
雨	08020								雹	霄	霆
	08030	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
	08040	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉		
青	08040									靜	
非	08040										靠
面	08050	靤	靦	靨							
革	08050				勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
	08060	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
	08070	鞴	韃	韆	韈						
韋	08070					韋	韜				
韭	08070							韭	齏	韲	
音	08070										竟
	08080	韶	韵								
頁	08080			頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
	08090	顏	顋	顫	顯	顰					
	08100		顱	顴	顳						
風	08100					颪	颯	颱	颶	飄	飃
	08110	飆									
食	08110		飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
	08120	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
首	08130	饐	饋	饑	饒	饌	饕				
香	08130							馗	馘		
馬	08130									馥	
	08130										馭
	08140	馮	馺	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
馬	08150	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
	08160	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
	08170	驢	驥	驤	驩	驫	驪				
骨	08170							骭	骰	骼	髀
	08180	髏	髑	髓	體						
高	08180					髞					
髟	08180						髟	髢	髣	髦	髯
	08190	髫	髮	髴	髱	髷					
	08200		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣		
鬥	08200									鬥	鬧
	08210	鬨	鬩	鬪	鬮						
鬯	08210					鬯					
鬲	08210						鬲				
鬼	08210							魄	魃	魏	魍
	08220	魎	魑	魘							
魚	08220				魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
	08230	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
	08240	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
	08250	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
	08260	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
	08270	鱠	鱧	鱶	鱸						
鳥	08270					鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
	08280	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
	08290	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
	08300		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
	08310	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
	08320	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
	08330	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞					
鹵	08330						鹵	鹹	鹽		
鹿	08330									麁	麈
	08340	麋	麌	麒	麕	麑	麝				
麥	08340							麥	麩	麸	麪
	08350	麭									
麻	08350		靡								
黄	08350			黌							
黎	08350				黎	黏	黐				
黒	08350							黔	黜	點	黝
	08360	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷			
黹	08360								黹	黻	黼
黽	08370	黽	鼇	鼈							
鼓	08370				皷	鼕					
鼠	08370						鼡	鼬			
鼻	08370								鼾		
齊	08370									齊	
齒	08370										齒
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
齒	08380	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
	08390	齲	齶								
	08390			龕							
龍	08390				龜						
龜	08390					龠					
龠	08400		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10700			¡	¢	£	¤	¥	¦	§	♪
10710	©	ª	«	¬	℗	®	¯	°	±	²
10720	³	´	µ	¶	•	‡	¹	º	»	¼
10730	½	¾	¿	À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ
10740	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï	Ð
10750	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	×	Ø	Ù	Ú
10760	Û	Ü	Ý	Þ	β	à	á	â	ã	ä
10770	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î
10780	ï	ð	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	÷	ø
10790	ù	ú	û	ü	ý					
10800		þ	ÿ	ɑ	ɔ	ʌ	ə	ɚ	ɛ	θ
10810	ʃ	ʒ	ŋ	ǽ	ɑ́	ɔ́	ʌ́	ə́	ɚ́	ɛ́
10820	æ̀	ɑ̀	ɔ̀	ʌ̀	ə̀	ɚ̀	ɛ̀	ː		
10830				Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ
10840	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
10850	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
10860	⑱	⑲	⑳	♧	♡	♤	♢	♣	♥	♠
10870	◆	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	(大)	(小)	㊙	㊞
10880	㊟	(新)	(再)	(禁)	⇄	↔	↗	↙	↘	↖
10890	☞	☜	☝	☟						
10900		1	2	3	4	5	6	7	8	9
10910	™	♯	♭	1	2	3	4	5	6	7
10920	8	9	♫	𝄞	𝄢	𝄽	♮	m	maj	sus
10930	aug	dim	add	♨	⛩	卍	〒	☎	℻	
区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
11000		✉	🍰	🎀	🎁	☼	☁	☂	☃	⛅
11010	COPY	KEEP	MST	🍴	☕	🍺	💘	💔	✊	✌
11020	✋	⚀	⚁	⚂	⚃	⚄	⚅	✈	🚃	🚢
11030	🚗	🚲	🏃	😖	😠	😃	😢	😱	🍃	💨
11040	🐞	🎤	💡	📯	⚽	🎾	⛳	⛷	🏄	⛵
11050	🐸	⛺	☾	☆	♈	♉	♊	♋	♌	♍
11060	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🐭	🐮	🐯	🐰
11070	🐲	🐍	🐴	🐑	🐵	🐔	🐶	🐗		
11100			!	"	#	$	%	&	'	(
11110	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2
11120	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<
11130	=	>	?	@	A	B	C	D	E	F
11140	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
11150	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
11160	[	\	]	^	_	`	a	b	c	d
11170	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n
11180	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x
11190	y	z	{	|	}					
11200		~		¡	¢	£	¤	¥	¦	§
11210	♪	©	ª	«	¬	℗	®	¯	°	±
11220	²	³	´	µ	¶	·	†	¹	º	»
11230	¼	½	¾	¿	À	Á	Â	Ã	Ä	Å
11240	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï
11250	Ð	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	×	Ø	Ù
区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
11260	Ú	Û	Ü	Ý	Þ	β	à	á	â	ã
11270	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í
11280	î	ï	ð	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	÷
11290	ø	ù	ú	û	ü					
11300		ý	þ	ÿ	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う
11310	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ
11320	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず
11330	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ
11340	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の
11350	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ
11360	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も
11370	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ
11380	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん	ァ	ア	ィ
11390	イ	ゥ	ウ	ェ	エ					
11400		ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ
11410	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ
11420	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ
11430	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
11440	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ
11450	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ
11460	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ
11470	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ	
区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

定格

アンプ部

実用最大出力 .... 2W＋2W（JEITA 8Ω）

チューナー部

FMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 76 MHz〜90 MHz
AMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 531 kHz〜1,629 kHz

MDレコーダー部

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 ATRAC/ATRAC3
D/Aコンバーター .... 1 bit
ワウ・フラッター（JEITA）........... 測定限界以下

CDプレーヤー部

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1 bit
オーバーサンプリング周波数.. 8fs (352.8kHz)
周波数特性 (JEITA)............ 20 Hz〜20,000 Hz
ワウ・フラッター (JEITA) .... 測定限界以下

スピーカー部

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカーユニット .... 70 mm コーン型 ＋25 mm ツィータ

電源部・その他

付属ACアダプター（100V AC, 50/60 Hz）....... DC 8V
（W09-1275-05）
乾電池（単3アルカリ乾電池 6本）............... DC 9V
最大外形寸法 .... 幅　470 mm
高さ　172 mm
奥行　51 mm
折りたたみ時寸法 .... 幅　236 mm
高さ　172 mm
奥行　74 mm
質量（重量）...................................... 1.7 kg（正味）

電池の持続時間（単3アルカリ乾電池6本使用時）
　音量：約30
　バックライトの設定：OFF
　N.B.の設定：ON

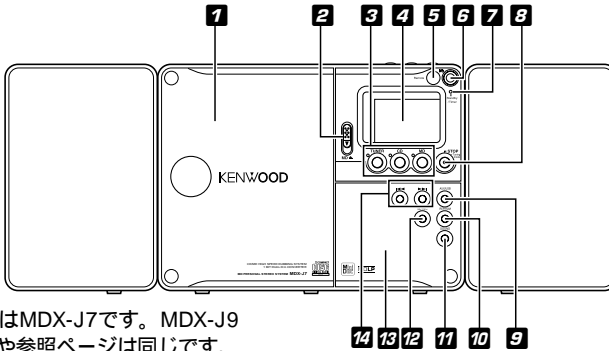
再生時	CD	約2.5時間
	MD	約3.5時間
録音時	CD → MD	約2時間
受信時	FM	約5.5時間

- 周囲温度25°Cにて連続使用したときの標準時間です。
- 周囲の温度、環境や使用条件により、電池の持続時間は異なります。

POINT

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

各部の名前

前面

※このイラストはMDX-J7です。MDX-J9も各部の名前や参照ページは同じです。

1. CDドア（22）
2. MD⏏（MD取り出し）（24）
3. TUNER FM/AM（19）
   CD ▶/❚❚（再生／一時停止）（22）
   MD ▶/❚❚（再生／一時停止）（24）
4. 表示部
5. リモコン受光部（15）
6. ⏻（電源）（18）
7. Standby/Timerインジケーター（68,103）
8. STOP（停止）／Tuning Mode（23,27）
9. AUX/USB（28,29）
10. REP/RDM（39）
11. SOUND（35）
12. MD REC（43）
13. MDホルダー（24）
14. ⏮，⏭（スキップ）（21,23）

カッコ内の数字は参照ページです。

上面

1. CD⏏（CD取り出し）（22）
2. PHONES（17）
3. AUX/OPT.IN（17）
4. MODE（18）
5. VOLUME/MULTI CONTROL（18,22）
6. SET/Demo（2,18）
7. USB（17）
8. S.W.（17）

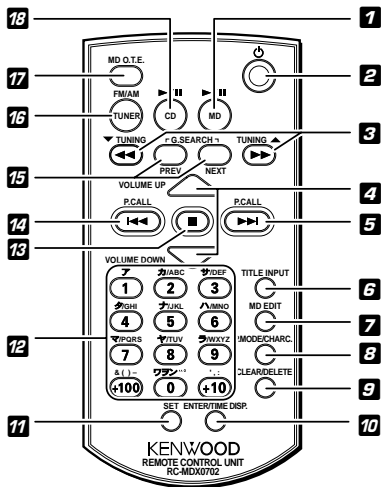
スタンバイ状態

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

Standby/Timerインジケーターの表示と本機の状態

表示	本機の状態
消灯	電源がオンのとき、または乾電池のみでスタンバイ状態になっている。
赤色の点灯	ACアダプターを壁のコンセントにつないでスタンバイ状態になっている。（乾電池を使用してのスタンバイ状態時は点灯しません。）
緑色の点灯	タイマーが実行スタンバイ状態になっている。
緑色の点滅	時計を合わせないでタイマー設定しようとした、または停電などによりタイマーが正しく実行されなかった。
赤色の点滅	電気系統の故障です。点検、修理を販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

リモコン

本体部と同じ名称のキーは本体部と同じ働きをします。

1 MD►/II（再生／一時停止）（24）

※ 2 ⏻（電源）（22）

3 ►►TUNING▲ （21,23,50）
◄◄TUNING▼ （21,23,50）

4 VOLUME UP（22）
VOLUME DOWN（22）

5 ►►I P.CALL（スキップ）（21,23,49）

6 TITLE INPUT（49）

7 MD EDIT（50,53）

8 P.MODE/CHARC.（38,50）

9 CLEAR/DELETE（38,50）

10 ENTER/TIME DISP.（21,32,50）

11 SET（49）

12 数字入力（22）文字入力（50）

13 ■（停止）（21,23）

14 I◄◄P.CALL（スキップ）（21,23,49）

15 G. SEARCH/PREV.（37）
G. SEARCH/NEXT（37）

16 TUNER FM/AM（19）

17 MD O.T.E.（30）

18 CD►/II（再生／一時停止）（22）

カッコ内の数字は参照ページです。

※乾電池で本機を使用しているときは、リモコンの ⏻（電源）キーを押しても電源を入れることができません。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター東京　電話（03）3477-5335　FAX（03）3477-5334　〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

カスタマーサポートセンター大阪　電話（06）6394-8085　FAX（06）6394-8308　〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

KG-00-02-001